

橋01	番号	設計 の 理由	上三川町橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁の補修工 事を実施する	工期	令和7年 3月10日限り	施行 方法	一般競争
6	補						

実 施 設 計 書

橋 梁 補 修 工 事
上梁橋 上三川町大字梁地内

延長 L = 51.0m 幅員 W = 3.0m
高さ H =

設 計 概 要

断 面 修 復 工	ポリマーセメントモルタル	1式
伸 縮 装 置 設 置 工		9.0m
塗 装 塗 替 工	1種ケレン(分離式ブラスト工法)、錆転換型塗装	375m ²
支 承 塗 替 塗 装 工	特殊エポキシセラミック塗装	1.3m ²
足 場 工	吊足場、朝顔防護足場、有害物質飛散防止防護	1式
環 境 対 策 資 材 費		1式

課長

補佐

係長

検算者

設計者

設 計 用 紙 (甲)

上 三 川 町

請 負 工 事 費 金
内 訳

工 事 価 格

消 費 税 相 当 額

予 算 額		増減額	予算額に対する 増 減 額	理 由
実 施 回	設 計 額			
	請 負 額			
今 回 変 更	設 計 額	増 減 額		
	請 負 額			

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	13 上三川町 実施設計書 当初 06-00033311111-40 0		
適用単価区分 適用単価地区 適用単価世代	1 実施単価 11 宇都宮土木事務所管内 0-060510(0)		
諸経費体系 ファイル名	1 一般公共 R06上梁橋_060510.ES5		
	当 世 代		前 世 代
前払率 工種 現場環境改善費 市街地補正区分 交通規制区分 ゼロ債務工事に係る補正 週休二日補正区分 契約保証方法 消費税等の率	40 08 鋼橋架設工事 00 計上しない 12 市街地以外 02 一般交通影響あり(2) 01 補正なし 01 補正なし 01 金銭的保証 06 10%適用		

* 本工事費 *

内訳表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本 工 事									X1000	
橋梁保全工事									Y17ZZ	
橋梁付属物工									Y1775	
伸縮継手工									Y1775200	
鋼・ゴム製伸縮装置補修									Y17752005XH	
橋梁用伸縮継手装置設置工 補修 普通型 1車線相当 伸縮量40mm 橋台部	6.0				m				SF449	0
橋梁用伸縮継手装置設置工 補修 普通型 1車線相当 伸縮量50mm 橋脚部	3.0				m				SF449	0
二重止水材 一般用	6.0				m				F0001	0
二重止水材 端部用	5.4				m				F0003	0

* 本工事費 *

内訳表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地覆端部材	6	箇所			F0005 0
端部排水処理工 材工共	6	箇所			V0030 0 施工 第0-0006号内訳表
シーリング材 シリコーン系	6.3	L			F0007 0
排水施設工		1 式			Y1775202
排水柵		1 式			Y17752025JL
排水柵 排水柵B 20kg/個以上 110kg/個以下 SUS製	4	箇所			SZD261 0 施工 第0-0007号内訳表
排水柵 SUS製 グレーチング含む	4	箇所			F0021 0
排水管		1 式			Y1775202472
排水管設置 足場あり	5.3	m			SZE781 0 施工 第0-0008号内訳表

* 本工事費 *

内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
排水管 100A 加工管	4	本			F0023 0
支持金具 排水管取付用	4	組			F0025 0
橋梁用防護柵工					Y1775204
		1 式			
防護柵補修工					Y1775204475
		1 式			
防護柵嵩上げ工	103.0	m			G0150
					科目 第0001号内訳表
橋梁補修工					Y1782
		1 式			
支承取替工					Y17822M7
		1 式			
杓座モルタル打替工					Y17742005S2
		1 式			
杓座モルタル打替工 (A1橋台部) 610*360*t55 材工共	2	箇所			F0049 0

* 本工事費 *

内訳表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
杓座モルタル打替工 (P1橋脚部) 610*360*t50 材工共	4			箇所					F0051	0
杓座モルタル打替工 (A2橋台部) 610*360*t75 材工共	2			箇所					F0053	0
ひび割れ補修工				1式					Y17822M9	
充てん工法				1式					Y17822M96XQ	
ひび割れ補修工 (充てん工法) 1 構造物当り補修延べ延長 2 0 m未満 ポリマーセメントモルタル	1			構造物					SA665	0
低圧注入工法				1式					Y17822M96XR	
ひび割れ補修工 (低圧注入工法) 1 構造物当り補修延べ延長 2 5 m未満 エポキシ系樹脂 (2種) 地覆・床版	1			構造物					SA667	0
ひび割れ補修工 (低圧注入工法) 1 構造物当り補修延べ延長 2 5 m未満 エポキシ系樹脂 (1種) 下部工	1			構造物					SA667	0
断面修復工				1式					Y17822MA	

* 本工事費 *

内訳表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
左官工法									Y17822MA6XS	
				1						
断面修復工 (左官工法) 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり 1 構造物当り修復延べ体積0. 1 1 9 m 3	1				構造物				SA669	0
										施工 第0-0012号内訳表
断面修復工 (左官工法) 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし 1 構造物当り修復延べ体積0. 0 1 1 m 3	1				構造物				SA669	0
										施工 第0-0013号内訳表
表面被覆工									Y17822MB	
					1					
表面含侵工									Y17822MB6XT	
					1					
簡易清掃 高所作業車なし 時間的制約なし	176				m 2				F0011	0
含侵材塗布工 高所作業車なし 時間的制約なし	176				m 2				F0013	0
含侵材 ケイ酸塩系表面保護剤	40.5				kg				F0015	0
現場塗装工									Y1778	
					1					

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
橋梁塗装工 桁、支承									Y1778200	
				1	式					
素地調整 桁、支承共通									Y1778200629	
				1	式					
橋梁塗装工 清掃・水洗い（塗替）									S4648	0
	375		m	2					施工	第0-0014号内訳表
橋梁塗装工 素地調整（塗替） 1種ケレン									S4648	0
	375		m	2					施工	第0-0015号内訳表
発生材回収積込 研削材再利用型ブラスト工法 車載式 廃研削材・ケレンかす（PCB含有）									V0100	0
	375		m	2					施工	第0-0016号内訳表
車載式トラック									V0110	0
	1			式					施工	第0-0017号内訳表
下塗 桁 錆転換防食塗装									Y17782005GI	
				1	式					
錆転換型防食塗装 脱脂洗浄・下塗り									V0010	0
	373		m	2					施工	第0-0018号内訳表
下塗 支承 特殊エポキシセラミック塗装									Y17782005GI	
				1	式					

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
特殊エポキシセラミック塗装工 下塗り・上塗り					V0020 0
支承部	1.3	m ²			施工 第0-0019号内訳表
中塗 桁 錆転換防食塗装		1 式			Y17782005GL
橋梁塗装工 中塗り (塗替) 弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー	373	m ²			S4648 0 施工 第0-0020号内訳表
上塗 桁 錆転換防食塗装		1 式			Y17782005G0
橋梁塗装工 上塗り (塗替) 弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー	373	m ²			S4648 0 施工 第0-0021号内訳表
道路付属構造物塗装工 防護柵		1 式			Y1778201
素地調整		1 式			Y177820148B
橋梁塗装工 素地調整 (塗替) 3種ケレンC	11	m ²			S4648 0 施工 第0-0022号内訳表
下塗		1 式			Y17782015GJ

* 本工事費 *

内訳表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
橋梁塗装工 下塗り (塗替) 鉛・クロムフリーさび止 はけローラー 2層	11	m ²			S4648 0 施工 第0-0023号内訳表
中塗		1 式			Y17782015GM
橋梁塗装工 中塗り (塗替) 長油性フタル酸樹脂 淡彩 はけ・ローラー	11	m ²			S4648 0 施工 第0-0024号内訳表
上塗		1 式			Y17782015GP
橋梁塗装工 上塗り (塗替) 長油性フタル酸樹脂 淡彩 はけ・ローラー	11	m ²			S4648 0 施工 第0-0025号内訳表
構造物撤去工		1 式			Y1780
運搬処理工		1 式			Y1780214
殻運搬、処分 断面修復、はつり等		1 式			Y1780214AOK
積込 (コンクリート殻)					SZA789 0
全ての費用	0.6	m ³			施工 第0-0026号内訳表

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし 10.9km以下 全ての費用	0.6	m ³			SZA961 0 施工 第0-0027号内訳表
処分費 コンクリート(無筋)	0.6	m ³			S0020 0 施工 第0-0028号内訳表
発生材処分 ケレンかす(PCB含有) 事業者保管用		1式			Y1780214A0L
UN規格ドラム缶 特別産業廃棄物保管用	12	缶			F0300 0
仮設工		1式			Y1781
環境対策工		1式			Y1781200
環境対策		1式			Y17812005EP
環境対策資機材費	1	式			G0100 科目 第0002号内訳表
足場工		1式			Y1781200

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考	
足場工									Y17812005EP		
				1	式						
足場工 (タイプ A 3) 主体足場	1				式				F1000	0	
床面シート張防護設置 主体足場	1				式				F1010	0	
足場工 (タイプ E) 片側朝顔 (シート+板張防護)	1				式				F1020	0	
セキュリティルーム仮囲足場設置撤去	1				式				F0610	0	
吊足場養生工 床面部 板張防護・シート養生	181				m 2				V0200	0	
									施工	第0-0029号内訳表	
吊足場養生工 朝顔側面部 板張防護・シート養生	81				m 2				V0210	0	
									施工	第0-0030号内訳表	
橋梁点検車運転									G0300	0	
					日					科目	第0003号内訳表
交通管理工									Y1781232		
					1	式					

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員		1 式			Y1781232Y21
交通誘導警備員の計上 交通誘導警備員 B	1	式			S0914 0 施工 第0-0031号内訳表

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
直接工事費										
運搬費									Z0004	
建設廃棄物収集・運搬費 4tダンプ車 片道10kmまで					1 式				T2777	0
技術管理費	2.1			t					Z0006	
極小規模鉄筋探査工 下向き 報告書作成費用含む					1 式				G0400	
安全費	1.5			m 2					科目 第0004号内訳表	
安全対策費 ブラスト施工時					1 式				Z0009	
共通仮設費 (率分)	1				式				G0200	
共通仮設費計					1 式				科目 第0005号内訳表	

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
純工事費										
現場管理費										
					1	式				
工事原価										
一般管理費等										
					1	式				
契約保証費										
					1	式				
一般管理費等計										
工事価格への積上費(請負率対象外)									Z0043	
スクラップ控除額									F0080	0
工事価格	1					式				

* 本工事費 *

内訳表

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事価格計					
消費税・地方 消費税額		1 式			
請負工事費					

防護柵嵩上げ工

G0150

科目内訳表

科目 第0001号内訳表

頁0-0016

103.0 m 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
撤去・支柱切断					V0001 0
防護柵嵩上げ工 新設部材設置	103.0	m			施工 第0-0001号内訳表
防護柵嵩上げ工 材料費	103.0	m			施工 第0-0002号内訳表
防護柵嵩上げ工	103.0	m			施工 第0-0003号内訳表
小計	103.0	m			
計	1	m			

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
負圧集塵機賃料 最大処理風量 33.5m ³ /min	1	月/台			F0310 0
基本管理費 (負圧集塵機) 最大処理風量 33.5m ³ /min 設置撤去費用含む	1	回・台			F0320 0
1次フィルター 負圧集塵装置用 2日/1回交換	7	枚			F0330 0
2次フィルター 負圧集塵装置用 2日/1回交換	7	枚			F0340 0
チャコールフィルター 負圧集塵装置用 2週間/1回交換	1	枚			F0350 0
HEPAフィルター 負圧集塵装置用 2週間/1回交換	1	枚			F0360 0
負圧集塵機用ダクト φ250吸込用クリヤダクト10m	2	本			F0370 0
負圧集塵機用ダクトバンド φ250ダクトバンド	2	個			F0380 0
PCB・鉛粉塵対策用真空掃除機賃料	1	月/台			F0390 0

科目内訳表

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基本管理費（真空掃除機） 設置撤去費用含む	1	回・台			F0400 0
真空掃除機用集塵フィルター	1	組			F0410 0
真空掃除機用チャコールフィルター	1	組			F0420 0
真空掃除機用HEPAフィルター	1	組			F0430 0
簡易セキュリティールーム フレーム・シート	1	式			F0440 0
エアシャワー賃料	1	月/台			F0450 0
基本管理費（エアシャワー） 設置撤去費用含む	1	回・台			F0460 0
エアシャワー用1次フィルター 2日/1回交換	7	枚			F0470 0
エアシャワー用チャコールフィルター 2週間/1回交換	1	枚			F0480 0

科目内訳表

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
エアシャワー用HEPAフィルター 2週間/1回交換	1	枚			F0490 0
工事用発電機賃料 45KVA 超低騒音型	13	日/台			F0500 0
基本管理費（工事用発電機） 設置撤去費用含む	1	回・台			F0510 0
環境対策機材設備電気配線関係工事	1	式			F0520 0
計	1	式			

科目内訳表

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)		人			RA070 0
橋梁点検車賃料 作業高約6.0m 積載質量200kg		日			F0031 0
軽油	50.4	L			TSX24 0
計	1	日			

極小規模鉄筋探查工

科目内訳表

頁0-0021

G0400

科目 第0004号内訳表

下向き

報告書作成費用含む

1.5

m²

当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
技師 (A)		人			RA625 0 1
技師 (B)		人			RA630 0 1
技師 (C)		人			RA635 0 1
諸雑费率 探查機器損料、消耗品、用紙等含む		%			#0001
小計	1.5	m ²			
計	1	m ²			

安全対策費

G0200

科目内訳表

科目 第0005号内訳表

頁0-0022

ブラスト施工時

1

式 当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備	考
電動ファン付呼吸用半面保護具	2	個			F0700	0
ブラスト用送気防塵面AD型	2	個			F0710	0
ブラスト用送気防塵面ホース 22m	2	本			F0720	0
電動ファン付呼吸用全面保護具	5	個			F0730	0
フィルター 1日/4回交換	176	枚			F0740	0
全身化学防護服 1日/4回交換	176	着			F0750	0
シルバーシールド手袋 1日/4回交換	176	双			F0770	0
化学防護手袋 1日/4回交換	176	双			F0780	0
シューズカバー 1日/4回交換	176	足			F0790	0

安全対策費

G0200

科目内訳表

科目 第0005号内訳表

頁0-0023

ブラスト施工時

1

式
考
当り

施工名称など	数量	単位	単価	金額	備	考
計	1	式				

撤去・支柱切断

V0001

施工内訳表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0024

防護柵嵩上げ工

103

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
既設橋梁用ガードレール部材撤去 笠木	103.0	m			F0033
既設橋梁用ガードレール部材撤去 ビーム	103.0	m			F0035
既設橋梁用ガードレール支柱切断撤去 支柱	56.0	m			F0037
諸雑費		%			#01 上記合計の20%
計	103	m			
小計	1	m			

施工内訳表

防護柵嵩上げ工

103

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
新設嵩上げ用部材設置 嵩上げ用支柱・笠木・ビーム	103.0	m			F0039
新設パイプビーム設置 パイプビーム・ブラケット	103.0	m			F0041
諸雑費		%			#01
計	103	m			
小計	1	m			

材料費

V0003

施工内訳表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0026

防護柵嵩上げ工

103

m

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵 笠木付嵩上げ部材（白）	103.0	m			F0043
防護柵 バンド止め下段パイプ（白）	103.0	m			F0045
材料加工費 伸縮部 加算額	2	箇所			F0047
計	103	m			
小計	1	m			

施工内訳表

施工 第0-0004号内訳表

橋梁用伸縮継手装置設置工
補修 普通型 1車線相当

SF449

伸縮量40mm

橋台部

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁用伸縮継手装置設置工 補修 普通型 1車線相当	1.000	m			RFQ46
橋梁用伸縮継手装置	1.000	m			TJT00
小計	1	m			

施工内訳表

施工 第0-0006号内訳表

V0030

端部排水処理工
材工共

12 箇所 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役		人			RA120
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
パイラッククリップ (P1) クリップ付	2	組			F0073
ステン厚サドル SUS製	12	組			F0075
諸雑費		%			#01
計	12	箇所			
小計	1	箇所			

施工内訳表

SZD261

施工 第0-0007号内訳表

排水柵

排水柵B 20kg/個以上 110kg/個以下

SUS製

1

箇所 当り

機械構成比：

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員			普通作業員		RA010
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
排水柵B			橋梁用排水柵 綱桁用Aタイプ 首下265 FC250本体 82.2kg/個		TK042
積算単価			積算単価		EP001
小計					

排水管設置
足場あり
機械構成比：

SZE781

施工内訳表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0031

1 m 当り

労務構成比：

材料構成比：

市場単価構成比：

標準単価：

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員			特殊作業員		RA005
普通作業員			普通作業員		RA010
土木一般世話役			土木一般世話役		RA125
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

ひび割れ補修工（充てん工法）

SA665

施工 第0-0009号内訳表

1 構造物当り補修延べ延長20m未満

ポリマーセメントモルタル

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
充填材	0.328	kg			TK008
諸雑費		%			#09
小計	1	構造物			

施工内訳表

ひび割れ補修工（低圧注入工法）

SA667

施工 第0-0010号内訳表

1 構造物当り補修延べ延長2.5m未満

エポキシ系樹脂(2種)

地覆・床版

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
注入材	0.600	kg			TKB05
シール材	0.726	kg			TKN03
低圧注入器具	12.000	個			TJ450
諸雑費		%			#09
小計	1	構造物			

施工内訳表

ひび割れ補修工（低圧注入工法）

SA667

施工 第0-0011号内訳表

1 構造物当り補修延べ延長2.5m未満

エポキシ系樹脂(1種)

下部工

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
注入材	0.790	kg			TKB05
シール材	1.000	kg			TKN03
低圧注入器具	16.000	個			TJ450
諸雑費		%			#09
小計	1	構造物			

施工内訳表

断面修復工（左官工法）

SA669

施工 第0-0012号内訳表

鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり

1 構造物当り修復延べ体積0.119m³

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
断面修復材	0.140	m ³			TJ460
諸雑費		%			#09
小計	1	構造物			

施工内訳表

断面修復工（左官工法）
鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし

SA669

施工 第0-0013号内訳表

1 構造物当り修復延べ体積0.011m³

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			RA125
特殊作業員		人			RA005
普通作業員		人			RA010
断面修復材	0.013	m ³			TJ460
諸雑費		%			#09
小計	1	構造物			

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁塗装工 塗替塗装 清掃水洗い 昼間 制約：無	100.000	m ²			T3H19
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

橋梁塗装工 素地調整（塗替）
1種ケレン

S4648

施工 第0-0015号内訳表

100 m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁塗装工 塗替塗装 素地調整 1種ケレン 昼間 制約：無	100.000	m ²			T3H22
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

頁0-0039

発生材回収積込

V0100

施工 第0-0016号内訳表

研削材再利用型ブラスト工法 車載式

廃研削材・ケレンかす(PCB含有)

1000

m²

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役		人			RA120
橋りょう特殊工 ジェクター回収工		人			RA110
普通作業員 研削材集積工		人			RA010
分離機 機械損料 2.7t/日回収	15	台			F0100
集塵機 機械損料 60m ³ /min	15	台			F0110
エジェクター(空気搬送機) 機械損料	15	台			F0120
ドライヤー 機械損料 空冷式 200V 27.5m ³ /min	15	台			F0130
エンジンコンプレッサー 機械損料 100馬力ドライ仕様 11.0m ³ /min	15	台			F0140
発電機 機械損料 超低騒音型 環境ベース50KVA	15	台			F0150
吸引ダクト 機械損料 内径150mm	40.0	m			F0160
軽油	3,000	L			TSX24
諸雑費		%			#01

施工内訳表

V0010

施工 第0-0018号内訳表

鍍轉換型防食塗装
脱脂洗浄・下塗り

100 m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役		人			RA120
橋りょう塗装工 脱脂洗浄工		人			RA115
橋りょう塗装工 下塗り工		人			RA115
脱脂洗浄剤 鍍轉換型防食塗装	5.0	kg			F0061
下塗り剤 鍍轉換型防食塗装	15.0	kg			F0063
諸雑費		%			#01 消耗雑材等
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

特殊エポキシセラミック塗装工
下塗り・上塗り

V0020

施工 第0-0019号内訳表

支承部

1.3

m²

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう世話役 下塗り工		人			RA120
橋りょう塗装工 下塗り工		人			RA115
橋りょう世話役 上塗り工		人			RA120
橋りょう塗装工 上塗り工		人			RA115
下塗り塗装剤 ラスタップ2110	1	セット			F0065
上塗り塗装剤 ラスタップ2220	1	セット			F0067
希釈剤 下塗り用	1	缶			F0069
希釈剤 上塗り用	1	缶			F0071
諸雑費		%			#01 消耗雑材等
計	1.3	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

橋梁塗装工 中塗り (塗替)

S4648

施工 第0-0020号内訳表

弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー

100 m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁塗装工 塗替塗装 中塗り 弱溶剤形ふっ素 淡彩 170×1層 昼間 制約：無	100.000	m ²			T3H85
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

橋梁塗装工 上塗り (塗替)

S4648

施工 第0-0021号内訳表

弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー

100

m²

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁塗装工 塗替塗装 上塗 弱溶剤形ふっ素 淡彩 140×1層 昼間 制約：無	100.000	m ²			T3I12
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

橋梁塗装工 素地調整（塗替）
3種ケレンC

S4648

施工 第0-0022号内訳表

100 m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁塗装工 塗替塗装 素地調整 3種ケレンC 昼間 制約：無	100.000	m ²			T3H34
計	100	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

橋梁塗装工 下塗り(塗替)
鉛・クロムフリーさび止 はけローラー2層

S4648

施工 第0-0023号内訳表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁塗装工 塗替塗装 下塗鉛クロムフリー錆止 140×2層 昼間 制約:無	100.000	m2			T3H52
計	100	m2			
小計	1	m2			

積込 (コンクリート殻)

SZA789

施工内訳表

施工 第0-0026号内訳表

頁0-0050

全ての費用

1

m3 当り

機械構成比:

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

標準単価:

代表機材規格	構成比	単価	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2014			バックホウ (クローラ型) [標準型] 排ガス2014		MA19S
普通作業員			普通作業員		RA010
運転手 (特殊)			運転手 (特殊)		RA070
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

施工 第0-0027号内訳表

SZA961

10.9km以下

全ての費用

1

m 3

当り

殻運搬

コンクリート(無筋)構造物とりこわし

機械構成比:

労務構成比:

材料構成比:

市場単価構成比:

標準単価:

代表機労材規格	構成比	単価	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]			ダンプトラック [オンロード・ディーゼル]		MA405
運転手 (一般)			運転手 (一般)		RA075
軽油			軽油 パトロール給油		TSX24
積算単価			積算単価		EP001
小計					

施工内訳表

S0020

施工 第0-0028号内訳表

処分費

コンクリート(無筋)

100 m³ 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート廃材処理費 無筋構造物廃材	100.000	m ³			T2602
計	100	m ³			
小計	1	m ³			

施工内訳表

頁0-0054

吊足場養生工
朝顔側面部

V0210

板張防護・シート養生

施工 第0-0030号内訳表

81.2 m² 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工 設置・撤去		人			RA110
足場損料 副資材、シート損料等含む	81.2	m ²			F0210
計	81.2	m ²			
小計	1	m ²			

施工内訳表

S0914

施工 第0-0031号内訳表

1 式 当り

交通誘導警備員の計上
交通誘導警備員B

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B	30.000	人・日			SA063 施工 第0-0032号内訳表
小計	1	式			

施工内訳表

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B		人			RA227
小計	1	人・日			

入力データ一覧表

頁0-0057

コード	名称・規格など	数量／ 単 位	単 価 金 額	条 件 名 条 件 名	価 値 称
G0100	環境対策資機材費	1 式			
F0310	負圧集塵機賃料 最大処理風量 33.5m ³ /min	1 月/台			
F0320	基本管理費（負圧集塵機） 最大処理風量 33.5m ³ /min	1 回・台			
F0330	1次フィルター 負圧集塵装置用	7 枚			
F0340	2次フィルター 負圧集塵装置用	7 枚			
F0350	チャコールフィルター 負圧集塵装置用	1 枚			
F0360	HEPAフィルター 負圧集塵装置用	1 枚			
F0370	負圧集塵機用ダクト φ250吸込用クリヤダクト10m	2 本			
F0380	負圧集塵機用ダクトバンド φ250ダクトバンド	2 個			
F0390	PCB・鉛粉塵対策用真空掃除機賃料	1 月/台			
F0400	基本管理費（真空掃除機）	1 回・台			
F0410	真空掃除機用集塵フィルター	1 組			
F0420	真空掃除機用チャコールフィルター	1 組			
F0430	真空掃除機用HEPAフィルター	1 組			
F0440	簡易セキュリティールーム フレーム・シート	1 式			
F0450	エアシャワー賃料	1 月/台			
F0460	基本管理費（エアシャワー）	1 回・台			
F0470	エアシャワー用1次フィルター	7 枚			

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条 件 名 称	値 称
F0480	エアシャワー用チャコールフィルター	1 枚			
F0490	エアシャワー用HEPAフィルター	1 枚			
F0500	工事用発電機賃料 45KVA 超低騒音型	13 日/台			
F0510	基本管理費（工事用発電機）	1 回・台			
F0520	環境対策機材設備電気配線関係工事	1 式			
G0200	安全対策費 ブラスト施工時	1 式			
F0700	電動ファン付呼吸用半面保護具	2 個			
F0710	ブラスト用送気防塵面AD型	2 個			
F0720	ブラスト用送気防塵面ホース 22m	2 本			
F0730	電動ファン付呼吸用全面保護具	5 個			
F0740	フィルター	176 枚			
F0750	全身化学防護服	176 着			
F0770	シルバーシールド手袋	176 双			
F0780	化学防護手袋	176 双			
F0790	シューズカバー	176 足			
G0210	安全対策費 研削材回収施工時	1 式			
F0730	電動ファン付呼吸用全面保護具	5 個			
F0740	フィルター	120 枚			

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条 件 名 称	価 称
F0750	全身化学防護服	120 着			
F0780	化学防護手袋	120 双			
F0770	シルバーシールド手袋	120 双			
F0790	シューズカバー	120 足			
G0220	安全対策費 発注者立会用	1 式			
F0730	電動ファン付呼吸用全面保護具	2 個			
F0740	フィルター	4 枚			
F0750	全身化学防護服	4 着			
F0780	化学防護手袋	4 双			
F0770	シルバーシールド手袋	4 双			
F0790	シューズカバー	4 足			
G0300	橋梁点検車運転	日			
RA070	運転手（特殊）	人			
F0031	橋梁点検車賃料 作業高約6.0m 積載質量200kg	日			
TSX24	軽油	50.4 L			
G0400	極小規模鉄筋探査工 下向き	1.5 m ²			
RA625	技師（A）	人			
RA630	技師（B）	人			

入力データ一覧表

頁0-0061

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条件 名称	値 称
X1000	**本工事**				
Y17ZZ	橋梁保全工事	1式			
Y1775	橋梁付属物工	1式			
Y1775200	伸縮継手工	1式			
Y17752005XH	鋼・ゴム製伸縮装置補修	1式			
SF449	橋梁用伸縮継手装置設置工 補修 普通型 1車線相当	6.0 m		A=5, B=1, C=1 A=補修 普通型 1車線相当, B=夜間作業 (20時~6時) なし, C =橋梁用伸縮継手装置本体計上あり	
SF449	橋梁用伸縮継手装置設置工 補修 普通型 1車線相当	3.0 m		A=5, B=1, C=1 A=補修 普通型 1車線相当, B=夜間作業 (20時~6時) なし, C =橋梁用伸縮継手装置本体計上あり	
F0001	二重止水材 一般用	6.0 m			
F0003	二重止水材 端部用	5.4 m			
F0005	地覆端部材	6 箇所			
V0030	端部排水処理工 材工共	6 箇所			
F0007	シーリング材 シリコン系	6.3 L			
Y1775202	排水施設工	1式			
Y17752025JL	排水柵	1式			
SZD261	排水柵 排水柵B 20kg/個以上 110kg/個以下	4 箇所		A=3 A=排水柵B 20kg/個以上 110kg/個以下	
F0021	排水柵 SUS製	4 箇所			

入力データ一覧表

頁0-0062

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条 件 名 称
Y1775202472	排水管	1 式		
SZE781	排水管設置 足場あり	5.3 m		A=2 A=足場あり
F0023	排水管 100A 加工管	4 本		
F0025	支持金具 排水管取付用	4 組		
Y1775204	橋梁用防護柵工	1 式		
Y1775204475	防護柵補修工	1 式		
G0150	防護柵嵩上げ工	103.0 m		
Y1782	橋梁補修工	1 式		
Y17822M7	支承取替工	1 式		
Y17742005S2	沓座モルタル打替工	1 式		
F0049	沓座モルタル打替工 (A1橋台部) 610*360*t55	2 箇所		
F0051	沓座モルタル打替工 (P1橋脚部) 610*360*t50	4 箇所		
F0053	沓座モルタル打替工 (A2橋台部) 610*360*t75	2 箇所		
Y17822M9	ひび割れ補修工	1 式		
Y17822M96XQ	充てん工法	1 式		
SA665	ひび割れ補修工 (充てん工法) 1 構造物当り補修延べ延長 2 0 m未満	1 構造物		A=1, C=0.273 A= 1 構造物当り補修延べ延長 2 0 m未満, C= 1 構造物当り充てん材 設計量 (k g)
Y17822M96XR	低圧注入工法	1 式		

入力データ一覧表

頁0-0063

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条件 名称
SA667	ひび割れ補修工（低圧注入工法） 1 構造物当り補修延べ延長 2.5 m未満	1 構造物		A=1, C=0.6, D=0.53, E=12 A=1 構造物当り補修延べ延長 2.5 m未満, C=1 構造物当りの注入材 使用量 (kg), D=1 構造物当りのシーリング材設計量 (kg), E=1 構 造物当りの低圧注入器具使用量 (個)
SA667	ひび割れ補修工（低圧注入工法） 1 構造物当り補修延べ延長 2.5 m未満	1 構造物		A=1, C=0.79, D=0.73, E=16 A=1 構造物当り補修延べ延長 2.5 m未満, C=1 構造物当りの注入材 使用量 (kg), D=1 構造物当りのシーリング材設計量 (kg), E=1 構 造物当りの低圧注入器具使用量 (個)
Y17822MA	断面修復工	1 式		
Y17822MA6XS	左官工法	1 式		
SA669	断面修復工（左官工法） 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり	1 構造物		A=1, B=2, C=0.119 A=鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり, B=1 構造物当り修復延べ体積 0 . 1 m ³ 以上, C=1 構造物当り修復延べ体積 V (m ³)
SA669	断面修復工（左官工法） 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし	1 構造物		A=2, B=1, C=0.011 A=鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし, B=1 構造物当り修復延べ体積 0 . 1 m ³ 未満, C=1 構造物当り修復延べ体積 V (m ³)
Y17822MB	表面被覆工	1 式		
Y17822MB6XT	表面含侵工	1 式		
F0011	簡易清掃 高所作業車なし	176 m ²		
F0013	含侵材塗布工 高所作業車なし	176 m ²		
F0015	含侵材 ケイ酸塩系表面保護剤	40.5 kg		
Y1778	現場塗装工	1 式		
Y1778200	橋梁塗装工 桁、支承	1 式		
Y1778200629	素地調整 桁、支承共通	1 式		

入力データ一覧表

頁0-0064

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条 件 名 称 条 件 名 称
S4648	橋梁塗装工 清掃・水洗い（塗替）	375 m ²		A=1, F=1, G=1, H=1 A=清掃・水洗い, F= 構造区分による補正なし, G=無し, H=夜間作業 (20時～6時) なし
S4648	橋梁塗装工 素地調整（塗替） 1種ケレン	375 m ²		A=2, B=1, F=1, G=1, H=1 A=素地調整, B=1種ケレン, F= 構造区分による補正なし, G=無し, H =夜間作業（20時～6時）なし
V0100	発生材回収積込 研削材再利用型ブラスト工法 車載式	375 m ²		
V0110	車載式トラック	1 式		
Y17782005GI	下塗 桁	1式		
V0010	錆転換型防食塗装 脱脂洗浄・下塗り	373 m ²		
Y17782005GI	下塗 支承	1式		
V0020	特殊エポキシセラミック塗装工 下塗り・上塗り	1.3 m ²		
Y17782005GL	中塗 桁	1式		
S4648	橋梁塗装工 中塗り（塗替） 弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー	373 m ²		A=5, D=7, F=1, G=1, H=1 A=中塗り, D=弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー, F= 構造区分に よる補正なし, G=無し, H=夜間作業（20時～6時）なし
Y17782005G0	上塗 桁	1式		
S4648	橋梁塗装工 上塗り（塗替） 弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー	373 m ²		A=6, E=7, F=1, G=1, H=1 A=上塗り, E=弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー, F= 構造区分に よる補正なし, G=無し, H=夜間作業（20時～6時）なし
Y1778201	道路付属構造物塗装工 防護柵	1式		
Y177820148B	素地調整	1式		

入力データ一覧表

頁0-0065

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条件 名称
S4648	橋梁塗装工 素地調整 (塗替) 3種ケレンC	11 m ²		A=2, B=5, F=1, G=1, H=1 A=素地調整, B=3種ケレンC, F=構造区分による補正なし, G=無し, H=夜間作業 (20時~6時) なし
Y17782015GJ	下塗	1式		
S4648	橋梁塗装工 下塗り (塗替) 鉛・クロムフリーさび止 はけローラー2層	11 m ²		A=4, C=4, F=1, G=1, H=1 A=下塗り, C=鉛・クロムフリーさび止 はけローラー2層, F=構造区分による補正なし, G=無し, H=夜間作業 (20時~6時) なし
Y17782015GM	中塗	1式		
S4648	橋梁塗装工 中塗り (塗替) 長油性フタル酸樹脂 淡彩 はけ・ローラー	11 m ²		A=5, D=2, F=1, G=1, H=1 A=中塗り, D=長油性フタル酸樹脂 淡彩 はけ・ローラー, F=構造区分による補正なし, G=無し, H=夜間作業 (20時~6時) なし
Y17782015GP	上塗	1式		
S4648	橋梁塗装工 上塗り (塗替) 長油性フタル酸樹脂 淡彩 はけ・ローラー	11 m ²		A=6, E=2, F=1, G=1, H=1 A=上塗り, E=長油性フタル酸樹脂 淡彩 はけ・ローラー, F=構造区分による補正なし, G=無し, H=夜間作業 (20時~6時) なし
Y1780	構造物撤去工	1式		
Y1780214	運搬処理工	1式		
Y1780214A0K	殻運搬、処分 断面修復、はつり等	1式		
SZA789	積込 (コンクリート殻)	0.6 m ³		
SZA961	殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし	0.6 m ³		A=1, B=1, C=1, E=1, F=1, G=9.4 A=コンクリート(無筋)構造物とりこわし, B=機械積込, C=DID区間なし, E=豪雪割増 工種条件と同じ, F=全ての費用, G=運搬距離 [km]
S0020	処分費 コンクリート (無筋)	0.6 m ³		A=2 A=コンクリート (無筋)

入力データ一覧表

頁0-0066

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条件 名称	値 称
Y1780214A0L	発生材処分 ケレンかす(PCB含有)	1式			
F0300	UN規格ドラム缶 特別産業廃棄物保管用	12 缶			
Y1781	仮設工	1式			
Y1781200	環境対策工	1式			
Y17812005EP	環境対策	1式			
G0100	環境対策資機材費	1 式			
Y1781200	足場工	1式			
Y17812005EP	足場工	1式			
F1000	足場工(タイプA3) 主体足場	1 式			
F1010	床面シート張防護設置 主体足場	1 式			
F1020	足場工(タイプE) 片側朝顔(シート+板張防護)	1 式			
F0610	セキュリテールーム仮囲足場設置撤去	1 式			
V0200	吊足場養生工 床面部	181 m ²			
V0210	吊足場養生工 朝顔側面部	81 m ²			
G0300	橋梁点検車運転	日			
Y1781232	交通管理工	1式			
Y1781232Y21	交通誘導警備員	1式			
S0914	交通誘導警備員の計上 交通誘導警備員B	1 式			A=15, B=2, C=2 A=必要日数, B=配置人数, C=交通誘導警備員B

入力データ一覧表

コード	名称・規格など	数量／ 単位	単価 金額	条 件 名 称	値 称
G0000	**直接工事費**				
Z0004	運搬費	1 式			
T2777	建設廃棄物収集・運搬費 4tダンプ車 片道10kmまで	2.1 t			
Z0006	技術管理費	1 式			
G0400	極小規模鉄筋探査工 下向き	1.5 m ²			
Z0009	安全費	1 式			
G0200	安全対策費 プラスト施工時	1 式			
Z0050	共通仮設費 (率分)	1 式			
G1000	**共通仮設費計**				
G2000	**純工事費**				
Z0020	現場管理費	1 式			
G4000	**工事原価**				
Z0030	一般管理費等	1 式			
Z0032	契約保証費	1 式			
G3200	**一般管理費等計**				
Z0043	**工事価格への積上費(請負率対象外)**	1 式			
F0080	スクラップ控除額	1 式			
G4800	**工事価格**				

公表単価一覧表

工事及び業務名 橋梁補修工事 上梁橋 上三川町大字川中子地内

名称	規格	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
発生材積込回収	廃研削材・レンカズ(PCB含有) 研削材再生利用型プラスト工法 分離機・集塵機ほか必要資機材積上	m2	6,151	○	○	○	
車載式トラック		式	442,000	○			
UNドラム缶	特別産業廃棄物保管用	缶	12,500			○	
吊足場養生	吊足場床面部 板張防護・シート養生[材工共]	m2	15,168		○	○	
吊足場養生	朝顔側面部 板張防護・シート養生[材工共]	m2	24,805		○	○	
脱脂洗浄・下塗り工	桁部	m2	4,334		○	○	
特殊エポキシセラミック塗装工	支承部	m2	480,461		○	○	
上塗り塗装剤	ラスタップ2220 支承部	4kgセット	94,000			○	
希釈剤	下塗り用 支承部	缶	14,000			○	
希釈剤	上塗り用 支承部	缶	17,900			○	
環境対策資機材		単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
負圧集塵機賃料	最大処理風量33.5m3/min	月/台	240,000	○	○		
基本管理費(負圧集塵機)	設置撤去費用含む	回・台	80,000	○			
負圧集塵機用1次フィルター	2日/1回交換	枚	4,000			○	
負圧集塵機用2次フィルター	2日/1回交換	枚	32,000			○	
負圧集塵機用チャコールフィルター	2週間/1回交換	枚	35,000			○	
負圧集塵機用HEPAフィルター	2週間/1回交換	枚	110,000			○	
負圧集塵機用ダクト	φ250吸込用クリヤダクト10m	本	20,000			○	
ダクト用バンド	φ250吸込用ダクトバンド	個	1,800			○	
PCB・鉛粉塵対策用真空掃除機賃料		月/台	66,000	○			
基本管理費(真空掃除機)	設置撤去費用含む	回・台	60,000	○			
真空掃除機用フィルターパック		組	3,600			○	
真空掃除機用チャコールフィルター		組	3,000			○	
真空掃除機用HEPAフィルター		枚	84,000			○	
簡易セキュリティールーム	シート・フレーム	式	390,000		○	○	
簡易セキュリティールーム仮囲い		式	250,000		○	○	

(備考)

- 1 本表に掲載されている単価は、見積りおよび特別調査により決定したものである。
- 2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。
「機」機械器具等の損料または賃料
「労」労務費
「材」材料費

公表単価一覧表

工事及び業務名 橋梁補修工事 上梁橋 上三川町大字川中子地内

名称	規格	単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
エアシャワー賃料		月/台	240,000	○	○		
基本管理費(エアシャワー)	設置撤去費用含む	回・台	80,000	○	○		
エアシャワー用1次フィルター	2日/1回交換	枚	4,000			○	
エアシャワー用HEPAフィルター	2週間/1回交換	枚	35,000			○	
エアシャワー用HEPAフィルター		枚	80,000			○	
工所用発電機賃料	45KVA 超低騒音型	日/台	1,820	○			
基本管理費(発電機)	設置撤去費用含む	回・台	10,000	○			
電気配線関係工事		式	150,000	○		○	
安全対策用備品		単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
プラスト用送気防塵面AD型		個	28,000			○	
プラスト用送気防塵面ホース		本	9,900			○	
シルバーシールド手袋		双	1,150			○	
沓座モルタル打替		単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
沓座モルタル打替工	A1橋台部 材工共	箇所	87,000	○	○	○	
沓座モルタル打替工	P1橋脚部 材工共	箇所	87,000	○	○	○	
沓座モルタル打替工	A2橋台部 材工共	箇所	87,000	○	○	○	
伸縮装置		単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
橋梁用伸縮装置	伸縮量40mm	m	108,000			○	参考:AIジョイント(AIJ-40)
橋梁用伸縮装置	伸縮量50mm	m	113,000			○	参考:AIジョイント(AIJ-50)
二重止水材	一般用	m	35,000			○	
二重止水材	端部用	m	35,000			○	
地覆端部材	加工費含む	箇所	11,400			○	
端部排水処理工	材工共	箇所	8,350	○	○	○	
排水装置		単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
排水柵	SUS製 グレーチング含む	箇所	92,800			○	
排水管	100A 加工管	本	16,500			○	
支持金具		組	19,500			○	
防護柵補修		単位	単価:円	適用区分			備考
				機	労	材	
防護柵嵩上げ工	撤去・切断	m	2,858	○	○		
	新設部材設置	m	4,013	○	○		
	材料費	m	19,854			○	

(備考)

1 本表に掲載されている単価は、見積りおよび特別調査により決定したものである。

2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。

「機」機械器具等の損料または賃料

「労」労務費

「材」材料費

数量計算書

工事名 橋梁補修工事

河川名 町道1-09号線

箇所名 上梁橋 上三川町大字梁地内

数量総括表

橋梁補修工事 上梁橋

工事区分(項目)・工程・種別・細別	規 格	単 位	数量(当初)	数量(変更)	数量(増減)	摘 要
本 工 事						
橋梁保全工事						
橋梁付属物工						
伸縮継手工						
鋼・ゴム製伸縮装置補修						
橋梁用伸縮継手装置設置工	補修 普通型 1車線相当 伸縮量40mm	m	6.0			橋台部
橋梁用伸縮継手装置設置工	補修 普通型 1車線相当 伸縮量50mm	m	3.0			橋脚部
二重止水材	一般用	m	6.0			
二重止水材	端部用	m	5.4			
地覆端部材						
端部排水処理工	材工共	箇所	6			
シーリング材	シリコン系	L	6.3			
排水施設工						
排水樹						
排水樹	排水樹B 20kg/個以上 110kg/個以下 SUS製	箇所	4			
排水樹	SUS製 グレーチング含む	箇所	4			
排水管						
排水管設置	足場あり	m	5.3			
排水管	100A 加工管	本	4			
支持金具	排水管取付用	組	4			
橋梁用防護柵工						
防護柵補修工						
防護柵嵩上げ工		m	103.0			
橋梁補修工						
支承取替工						
沓座モルタル打替工						
沓座モルタル打替工 (A1橋台部)	610*360*t55 材工共	箇所	2			
沓座モルタル打替工 (P1橋脚部)	610*360*t50 材工共	箇所	4			
沓座モルタル打替工 (A2橋台部)	610*360*t75 材工共	箇所	2			
ひび割れ補修工						
充てん工法						
ひび割れ補修工 (充てん工法)	1 構造物当り補修延べ延長2.0m未満 ポリマーセメントモルタル	構造物	1			
低圧注入工法						
ひび割れ補修工 (低圧注入工法)	1 構造物当り補修延べ延長2.5m未満 エポキシ系樹脂(2種)	構造物	1			地覆・床版
ひび割れ補修工 (低圧注入工法)	1 構造物当り補修延べ延長2.5m未満 エポキシ系樹脂(1種)	構造物	1			下部工
断面修復工						
左官工法						

数量総括表

橋梁補修工事 上梁橋

工事区分(項目)・工種・種別・細別	規 格	単 位	数量(当初)	数量(変更)	数量(増減)	摘 要
断面修復工 (左官工法)	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理あり 1 構造物当り修復延べ体積 0. 1 1 9 m ³	構造物	1			
断面修復工 (左官工法)	鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理なし 1 構造物当り修復延べ体積 0. 0 1 1 m ³	構造物	1			
表面被覆工						
表面含侵工						
簡易清掃	高所作業車なし 時間的制約なし	m ²	176			
含侵材塗布工	高所作業車なし 時間的制約なし	m ²	176			
含侵材	ケイ酸塩系表面保護剤	kg	40. 5			
現場塗装工						
橋梁塗装工	桁、支承					
素地調整	桁、支承共通					
橋梁塗装工 清掃・水洗い(塗替)		m ²	375			
橋梁塗装工 素地調整(塗替)	1 種ケレン	m ²	375			
発生材回収積込	研削材再利用型プラスト工法 車載式 廃研削材・ケレンかす(PCB 含有)	m ²	375			
車載式トラック		式	1			
下塗	桁 錆転換防食塗装					
錆転換型防食塗装	脱脂洗浄・下塗り	m ²	373			
下塗	支承 特殊エポキシセラミック塗装					
特殊エポキシセラミック塗装工	下塗り・上塗り	m ²	1. 3			支承部
中塗	桁 錆転換防食塗装					
橋梁塗装工 中塗り(塗替)	弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー	m ²	373			
上塗	桁 錆転換防食塗装					
橋梁塗装工 上塗り(塗替)	弱溶剤形ふっ素樹脂 淡彩 スプレー	m ²	373			
道路付属構造物塗装工	防護柵					
素地調整						
橋梁塗装工 素地調整(塗替)	3 種ケレンC	m ²	11			
下塗						
橋梁塗装工 下塗り(塗替)	鉛・クロムフリーさび止 はけローラー2層	m ²	11			
中塗						
橋梁塗装工 中塗り(塗替)	長油性フタル酸樹脂 淡彩 はけ・ローラー	m ²	11			
上塗						
橋梁塗装工 上塗り(塗替)	長油性フタル酸樹脂 淡彩 はけ・ローラー	m ²	11			
構造物撤去工						
運搬処理工						
殻運搬、処分	断面修復、はつり等					
積込(コンクリート殻)		m ³	0. 6			

数量 総 括 表

橋梁補修工事 上梁橋

工事区分(項目)・工程・種別・細別	規 格	単 位	数量(当初)	数量(変更)	数量(増減)	摘 要
殻運搬	コンクリート(無筋)構造物とリこわし 10.9km以下	m ³	0.6			
処分費	コンクリート(無筋)	m ³	0.6			
発生材処分	ケレンかす(PCB含有) 事業者保管用					
UN規格ドラム缶	特別産業廃棄物保管用	缶	12			
仮設工						
環境対策工						
環境対策						
環境対策資機材費		式	1			
足場工						
足場工						
足場工(タイプA3)	主体足場	式	1			
床面シート張防護設置	主体足場	式	1			
足場工(タイプE)	片側朝顔(シート+板張防護)	式	1			
セキリールーム仮囲足場設置撤去		式	1			
吊足場養生工	床面部 板張防護・シート養生	m ²	181			
吊足場養生工	朝顔側面部 板張防護・シート養生	m ²	81			
橋梁点検車運転		日				
交通管理工						
交通誘導警備員						
交通誘導警備員の計上	交通誘導警備員B	式	1			
直接工事費						
運搬費		1式				
建設廃棄物収集・運搬費	4tダンプ車 片道10kmまで	t	2.1			
技術管理費		1式				
極小規模鉄筋探査工	下向き 報告書作成費用含む	m ²	1.5			
安全費		1式				
安全対策費	プラスト施工時	式	1			
共通仮設費(1式				
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費		1式				
工事原価						
一般管理費等		1式				
契約保証費		1式				
**一般管理費等計*						
工事価格への積上費(請負率対象外)		1式				
スクラップ控除額		式	1			

1. 数量集計表

1.1. 断面修復工

工種・細目		規格	単位	数量	摘要
断面修復工					
断面修復工A	補修面積		m ²	1.691	
	補修体積		m ³	0.119	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル (防錆材あり)	m ³	0.119	ロスなし
断面修復工B	補修面積		m ²	0.448	
	補修体積		m ³	0.011	
	断面修復材	ポリマーセメントモルタル (防錆材なし)	m ³	0.011	ロスなし
コンクリート殻処理 (別途集計により計上)		無筋(殻運搬含む)	m ³	0.13	コンクリート殻(無筋) 参考重量: 0.3t

1.2. ひびわれ補修工

工種・細目		規格	単位	数量	摘要
ひびわれ補修工					
ひびわれ 注入工	注入工延長		m	8.30	
	シール材	エポキシ系 比重: 1.7	kg	1.26	ロスなし 0.53+0.73
	注入材(地覆)	エポキシ系樹脂(2種)	kg	0.35	ロス含む
	注入材(床版)	エポキシ系樹脂(2種)	kg	0.25	ロス含む
	注入材(下部工)	エポキシ系樹脂(1種)	kg	0.79	ロス含む
	注入器具	0.3m当り1本	本	28	
ひびわれ 充填工	充填工延長		m	1.55	
	充填材(下部工)	ポリマーセメントモルタル	kg	0.273	ロスなし

1.3. 塗装塗替工

工種・細目		規格	単位	数量	摘要
塗装塗替工					
素地調整工		1種ケレン (分離式ブラスト工法同等)	m ²	374.69	
塗装塗替工	錆転換型防食塗装		m ²	373.39	主桁・横桁
	特殊エポキシセラミック塗装		m ²	1.30	支承

1.4. 沓座モルタル打替工

工種・細目		規格	単位	数量	摘要
沓座モルタル打替工					
支承			基	8	
撤去	既設モルタル		m ³	0.01	コンクリート殻(無筋) 参考重量:0.02t
	コンクリートはつり	t=30mm	m ²	1.15	
			m ³	0.04	コンクリート殻(無筋) 参考重量:0.09t
	コンクリートカッター工	t=20mm	m	15.52	別途集計
復旧	無収縮モルタル		m ³	0.07	
	型枠		m ²	0.43	
	差筋アンカー	D10(SD345)	本	32	必要長 L=25mm, L=30mm, L=50mm
	コンクリート削孔	φ 14.5x45	孔	32	
	鉄筋質量	D10(SD345)	kg	9	

1.5. 伸縮装置取替工

工種・細目		規格	単位	数量	摘要
伸縮装置					
伸縮装置		鋼製荷重支持型	m	6.000	伸縮量40mmタイプ
			m	3.000	伸縮量50mmタイプ
はつり工			m ³	0.355	コンクリート殻(無筋) 参考重量:0.9t
超速硬コンクリート		$\sigma 3h=24N/mm^2$	m ³	0.355	
鉄筋		D13	kg	35.7	
差筋アンカー		D13	本	180	
コンクリート削孔		$\phi 18 \times 56$	本	180	
二重止水材		クローザー (繊維補強ゴムシート)	m	6.000	一般用
			本	6	
			m	5.400	端部用
			本	6	
固定金具	橋台部	ステン厚サドルバンド	個	12	
	橋脚部	クリップ	個	2	
アンカーボルト		あと施工アンカー	本	24	
地覆端部材			箇所	6	
端部排水処理工			箇所	6	
シーリング材			ℓ	6.324	
伸縮装置撤去			kg	747	鋼重 別途集計
地覆形成					
超速硬コンクリート		$\sigma 3h=24N/mm^2$	m ³	0.072	
鉄筋		D13(SD345)	kg	4	
差筋アンカー		D13×105	本	16	
コンクリート削孔		$\phi 18 \times 56$	本	16	
鉄筋探査工		下向き	m ²	0.48	
型枠			m ²	0.84	
チップング			m ²	0.48	

1.6. 表面保護工

工種・細目	規格	単位	数量	摘要
表面保護工				
表面含浸工	反応型けい酸塩系表面含浸材	m ²	176.23	標準塗布量：0.23kg/m ² (舗装、地覆)

1.7. 排水装置設置工

工種・細目	規格	単位	数量	摘要	
排水装置設置工					
新設 排水ます	排水ます	SUS製	箇所	4	
	コンクリートはつり	t=56~63mm	m ²	0.54	
			m ³	0.03	コンクリート殻(無筋) 参考重量:0.1t
	コンクリートカッター工	t=30mm	m	4.24	別途集計
	鉄筋探査	下向き	m ²	1.00	
	コア削孔	φ110×173	箇所	4	コンクリート殻(無筋) 参考重量:0.02t
	樹脂充填	エポキシ樹脂系 γ=1.2	kg	2.6	
	シール材	エポキシ樹脂系 γ=1.7	kg	0.9	
	無収縮モルタル		m ³	0.02	
新設 排水管	排水管	直管 VP100A	箇所	4	
			m	5.276	
	鋼材	SS400	kg	1	
	新設ボルト	M10×30	本	16	
	溶融亜鉛メッキ	HDZT49	kg	1	
支持金具 (4組分)	鋼材	SS400	kg	8	
		SM400A	kg	16	
	工場溶接		m	0.178	6mm換算長
	溶融亜鉛メッキ	HDZT77, HDZT49	kg	24	
	現場孔明	φ14	箇所	8	

1.8. 防護柵補修工

工種・細目	規格	単位	数量	摘要
防護柵補修工				
防護柵嵩上げ工		m	103.0	
ガス切断	支柱φ114.3 t=4.5:推定	m	20.11	
笠木取替工		m	102.0	
ビーム取替工		m	103.0	
撤去重量		kg	1347	別途集計
ビームパイプ設置工	φ42.7×2.3	m	102.0	
支柱塗装塗替工	Ra-Ⅲ塗装系	m ²	11.06	

1.9. 足場工

工種・細目	規格	単位	数量	摘要
足場工				
吊り足場	タイプA3	m ²	181.2	
朝顔防護足場	タイプE	m ²	81.2	
床面シート張り防護		m ²	181.2	
橋梁点検車	下部工補修のみ	式	1	

別途集計表

コンクリート殻処理	断面修復、Coはつり、伸縮装置、排水桝	m ³	0.56	0.13+0.04+0.355+0.03
鉄筋探査（下向き）	地覆形成、排水桝	m ²	1.48	0.48+1.00
カッター濁水	杓座モルタル打替工、排水桝	m	19.76	15.52+4.24
撤去鋼材重量	伸縮装置、防護柵	kg	2094	747+1347

2. 断面修復工 計算書

2.1. 断面修復工 数量集計表

工種		単位	数量				摘要
			地覆	床版	下部工	合計	
断面修復工A	補修面積	m ²	1.000	0.425	0.266	1.691	
	補修体積	m ³	0.0700	0.0298	0.0189	0.119	
断面修復材(A)	ポリマーセメントモルタル (防錆材あり)	m ³	0.0700	0.0298	0.0189	0.119	ロス含まない
断面修復工B	補修面積	m ²	0.189	-	0.259	0.448	
	補修体積	m ³	0.0049	-	0.0065	0.011	
断面修復材(B)	ポリマーセメントモルタル (防錆材なし)	m ³	0.0049	-	0.0065	0.011	ロス含まない
コンクリート殻処理		m ³	0.075	0.030	0.025	0.13	無筋（殻運搬含む） 参考重量：0.3t

2. 2. 断面修復工

2. 2. 1. 地覆断面修復工明細計算書

路面

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (㎡)	深さ (mm)	体積 (㎡)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
T1	地覆	鉄筋露出	50	600	1	100	650	0.065	70	0.0046
T2	地覆	鉄筋露出	50	150	1	100	200	0.020	70	0.0014
T3	地覆	鉄筋露出	80	50	2	130	100	0.026	70	0.0018
T4	地覆	鉄筋露出	80	50	5	130	100	0.065	70	0.0046
T5	地覆	鉄筋露出	80	50	12	130	100	0.156	70	0.0109
T6	地覆	鉄筋露出	80	50	2	130	100	0.026	70	0.0018
T7	地覆	鉄筋露出	80	50	1	130	100	0.013	70	0.0009
T8	地覆	鉄筋露出	80	50	3	130	100	0.039	70	0.0027
T9	地覆	鉄筋露出	80	50	9	130	100	0.117	70	0.0082
T10	地覆	鉄筋露出	80	50	3	130	100	0.039	70	0.0027
T11	地覆	鉄筋露出	80	50	5	130	100	0.065	70	0.0046
T12	地覆	鉄筋露出	80	50	7	130	100	0.091	70	0.0064
T13	地覆	鉄筋露出	80	50	3	130	100	0.039	70	0.0027
T14	地覆	鉄筋露出	80	50	1	130	100	0.013	70	0.0009
T15	地覆	鉄筋露出	50	50	1	100	100	0.010	70	0.0007
T16	地覆	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T17	地覆	鉄筋露出	50	50	1	100	100	0.010	70	0.0007
T18	地覆	鉄筋露出	80	50	8	130	100	0.104	70	0.0073
T19	地覆	鉄筋露出	80	50	1	130	100	0.013	70	0.0009
T20	地覆	鉄筋露出	50	50	1	100	100	0.010	70	0.0007
T21	地覆	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T22	地覆	鉄筋露出	50	50	1	100	100	0.010	70	0.0007
断面修復工A 小計								0.977		0.0684

路面

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (㎡)	深さ (mm)	体積 (㎡)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
K1	地覆	欠損	150	100	1	200	150	0.030	25	0.0008
K2	地覆	欠損	150	100	1	200	150	0.030	25	0.0008
H1	地覆	剥離	100	100	1	150	150	0.023	25	0.0006
断面修復工B 小計								0.083		0.0022

地覆下面

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (㎡)	深さ (mm)	体積 (㎡)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
T3	地覆下面	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
断面修復工A 小計								0.023		0.0016

地覆下面

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (㎡)	深さ (mm)	体積 (㎡)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
U1	地覆下面	うき	100	200	1	150	250	0.038	25	0.0010
U2	地覆下面	うき	100	400	1	150	450	0.068	25	0.0017
断面修復工B 小計								0.106		0.0027

2.2.2. 床版断面修復工明細計算書

張出床版

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (㎡)	深さ (mm)	体積 (㎡)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
T1	張出床版	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T2	張出床版	鉄筋露出	700	100	1	750	150	0.113	70	0.0079
T4	張出床版	鉄筋露出	370	100	1	420	150	0.063	70	0.0044
T5	張出床版	鉄筋露出	200	100	1	250	150	0.038	70	0.0027
T6	張出床版	鉄筋露出	200	100	1	250	150	0.038	70	0.0027
T7	張出床版	鉄筋露出	50	50	1	100	100	0.010	70	0.0007
T8	張出床版	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T9	張出床版	鉄筋露出	200	100	1	250	150	0.038	70	0.0027
T10	張出床版	鉄筋露出	150	80	1	200	130	0.026	70	0.0018
T11	張出床版	鉄筋露出	100	100	1	150	150	0.023	70	0.0016
T12	張出床版	鉄筋露出	150	100	1	200	150	0.030	70	0.0021
断面修復工A 小計								0.425		0.0298

2. 2. 3. 下部工断面修復工明細計算書

A1橋台

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (㎡)	深さ (mm)	体積 (㎡)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
T1	胸壁	鉄筋露出	150	50	2	175	100	0.035	70	0.0025
T2	胸壁	鉄筋露出	80	50	4	105	100	0.042	70	0.0029
断面修復工A 小計								0.077		0.0054

A2橋台

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (㎡)	深さ (mm)	体積 (㎡)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
T3	胸壁	鉄筋露出	300	30	1	350	80	0.028	70	0.0020
T4	胸壁	鉄筋露出	80	50	1	105	100	0.011	70	0.0008
断面修復工A 小計								0.039		0.0028

P1橋脚

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (㎡)	深さ (mm)	体積 (㎡)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
T5	梁部	鉄筋露出	200	150	1	225	200	0.045	70	0.0032
T6	梁部	鉄筋露出	50	20	1	75	70	0.005	70	0.0004
T7	梁部	鉄筋露出	200	150	1	225	200	0.045	70	0.0032
T8	梁部	鉄筋露出	50	20	1	75	70	0.005	70	0.0004
T9	梁部	鉄筋露出	250	150	1	250	200	0.050	70	0.0035
断面修復工A 小計								0.150		0.0107

A1橋台

番号	名称	損傷種類	損傷寸法			カッター工範囲		面積 (㎡)	深さ (mm)	体積 (㎡)
			幅	長さ	箇所	幅	長さ			
U1	胸壁	うき	350	200	1	400	250	0.100	25	0.0025
U2	橋座面	うき	400	350	1	425	375	0.159	25	0.0040
断面修復工B 小計								0.259		0.0065

2.2.3. 断面修復面積

無筋（殻運搬含む） 単位質量： 2.350 t/m³

①断面修復工A

地覆 A = 0.977 + 0.023 = 1.000 m²

床版 A = 0.425 = 0.425 m²

下部工 A = 0.077 + 0.039 + 0.150 = 0.266 m²

②断面修復工B

地覆 A = 0.083 + 0.106 = 0.189 m²

下部工 A = 0.259 = 0.259 m²

2.2.4. コンクリート殻処理

無筋（殻運搬含む） 単位質量： 2.350 t/m³

①断面修復工A

地覆 V = 0.0684 + 0.0016 = 0.0700 m³

床版 V = 0.0298 = 0.0298 m³

下部工 V = 0.0054 + 0.0028 + 0.0107 = 0.0189 m³

②断面修復工B

地覆 V = 0.0022 + 0.0027 = 0.0049 m³

下部工 V = 0.0065 = 0.0065 m³

コンクリート殻 体積合計 ΣV= 0.13 m³

参考重量

W = 0.13 × 2.350 t/m³ = 0.3 t

2.2.5. 断面修復材

ロス率： 1.18

ポリマーセメントモルタル(防錆剤塗布あり)

①断面修復工A

地覆 V= 0.0700 m³

V×1.18(ロス率)= 0.0826 m³

床版 V= 0.0298 m³

V×1.18(ロス率)= 0.0352 m³

下部工 V= 0.0189 m³

V×1.18(ロス率)= 0.0223 m³

断面修復工A 体積合計 ΣV= 0.140 m³

体積合計(ロス率含まない) ΣV= 0.119 m³

ポリマーセメントモルタル(防錆剤塗布なし)

②断面修復工B

地覆

$$V= 0.0049 \text{ m}^3$$

$$V \times 1.18 (\text{ロス率}) = 0.0058 \text{ m}^3$$

下部工

$$V= 0.0065 \text{ m}^3$$

$$V \times 1.18 (\text{ロス率}) = 0.0077 \text{ m}^3$$

$$\text{断面修復工B 体積合計 } \Sigma V = 0.014 \text{ m}^3$$

$$\text{体積合計(ロス率含まない) } \Sigma V = 0.011 \text{ m}^3$$

3. ひびわれ補修工

3.1. ひびわれ補修工 数量集計表

3.1.1. 地覆ひびわれ注入工 数量集計表

工種	単位	数量	摘要
注入工延長	m	2.10	
シール材	kg	0.32	エポキシ系 比重：1.7 ロスなし
注入材	kg	0.35	エポキシ系樹脂(2種) ロス含む
注入器具	本	7	0.3m当り1本

3.1.2. 床版ひびわれ注入工 数量集計表

工種	単位	数量	摘要
注入工延長	m	1.40	
シール材	kg	0.21	エポキシ系 比重：1.7 ロスなし
注入材	kg	0.25	エポキシ系樹脂(2種) ロス含む
注入器具	本	5	0.3m当り1本

3.1.3. 下部工ひびわれ注入工 数量集計表

工種	単位	数量	摘要
注入工延長	m	4.80	
シール材	kg	0.73	エポキシ系 比重：1.7 ロスなし
注入材	kg	0.79	エポキシ系樹脂(1種) ロス含む
注入器具	本	16	0.3m当り1本

3.1.4. 下部工ひびわれ充填工 数量集計表

工種	単位	数量	摘要
充填工延長	m	1.55	
充填材	kg	0.273	ポリマーセメントモルタル ロスなし

3. 2. 地覆 ひびわれ注入工

3. 2. 1. 地覆ひびわれ注入工明細計算書

ひびわれ h(0.2mm以上~1.0mm未満) 数量表

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	
地覆				
h1	0.2	200	1	0.200
h2	0.2	200	1	0.200
h3	0.2	200	1	0.200
h4	0.2	200	1	0.200
h5	0.2	200	1	0.200
h6	0.2	500	1	0.500
h7	0.2	200	1	0.200
h8	0.2	200	1	0.200
h9	0.3	200	1	0.200
ひびわれ注入工 小計				2.100

3.2.2. 注入工延長

ひびわれ延長 (ひびわれ数量表より)

路面

$$L = 2.100 \text{ m}$$

3.2.3. シール材質量

シール材(エポキシ系)

比重: 1.7 ロス率: 1.37

$$W = \frac{2.100}{\text{延長}} \times \frac{0.030}{\text{幅}} \times \frac{0.003}{\text{厚さ}} \times \frac{1700}{\text{比重}} \times 1.37 = 0.44 \text{ kg}$$

ロス率なし = 0.32 kg

3.2.4. 注入器具

0.3m当り1本

$$N = \frac{2.100}{\text{延長}} / \frac{0.3}{\text{ピッチ}} = 7 \text{ 本}$$

3.2.5. 注入材質量

注入材(エポキシ系樹脂)

ロス率: 1.15

注入器容量想定: 43 g/本

$$W = \frac{7}{\text{本数}} \times \frac{0.043}{\text{容量}} \times 1.15 = 0.35 \text{ kg}$$

3.3. 床版 ひびわれ注入工

3.3.1. 床版ひびわれ注入工明細計算書

ひびわれ h(0.2mm以上~1.0mm未満) 数量表

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	
張出床版				
h1	0.2	700	1	0.700
h2	0.2	700	1	0.700
ひびわれ注入工 小計				1.400

3.3.2. 注入工延長

ひびわれ延長 (ひびわれ数量表より)

上部工

$$L = 1.400 \text{ m}$$

3.3.3. シール材質量

シール材(エポキシ系)

比重: 1.7 ロス率: 1.37

$$W = \frac{1.400}{\text{延長}} \times \frac{0.030}{\text{幅}} \times \frac{0.003}{\text{厚さ}} \times \frac{1700}{\text{比重}} \times 1.37 = 0.29 \text{ kg}$$

ロス率なし = 0.21 kg

3.3.4. 注入器具

0.3m当り1本

$$N = \frac{1.400}{\text{延長}} / \frac{0.3}{\text{ピッチ}} = 5 \text{ 本}$$

3.3.5. 注入材質量

注入材(エポキシ系樹脂)

ロス率: 1.15

注入器容量想定: 43 g/本

$$W = \frac{5}{\text{本数}} \times \frac{0.043}{\text{容量}} \times 1.15 = 0.25 \text{ kg}$$

3.4. 下部工 ひびわれ注入工

3.4.1. 下部工ひびわれ注入工明細計算書

ひびわれh(0.2mm以上～1.0mm未満) 数量表

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	
A1橋台				
h1	0.5	1100	1	1.100
P1橋脚				
h2	0.4	800	1	0.800
h3	0.3	500	1	0.500
h4	0.4	400	1	0.400
h5	0.4	400	1	0.400
h6	0.3	800	1	0.800
h7	0.7	800	1	0.800
ひびわれ注入工 小計				4.800

3.4.2. 注入工延長

ひびわれ延長 (ひびわれ数量表より)

下部工

$$L = 4.800 \text{ m}$$

3.4.3. シール材質量

シール材(エポキシ系)

比重: 1.7 ロス率: 1.37

$$W = \frac{4.800}{\text{延長}} \times \frac{0.030}{\text{幅}} \times \frac{0.003}{\text{厚さ}} \times \frac{1700}{\text{比重}} \times 1.37 = 1.01 \text{ kg}$$

$$\text{ロス率なし} = 0.73 \text{ kg}$$

3.4.4. 注入器具

0.3m当り1本

$$N = \frac{4.800}{\text{延長}} / \frac{0.3}{\text{ピッチ}} = 16 \text{ 本}$$

3.4.5. 注入材質量

注入材(エポキシ系樹脂)

ロス率: 1.15

注入器容量想定: 43 g/本

$$W = \frac{16}{\text{本数}} \times \frac{0.043}{\text{容量}} \times 1.15 = 0.79 \text{ kg}$$

3.4. 下部工 ひびわれ充填工

3.4.1. 下部工ひびわれ充填工明細計算書

ひびわれhj (1.0mm以上) 数量表

整理番号	損傷寸法			総延長 (m)
	幅 (mm)	長さ (mm)	箇所	
P1橋脚				
hj 1	3.0	1550	1	1.550
ひびわれ充填工 合計				1.550

3.4.2. 充填工延長

ひびわれ延長 (ひびわれ数量表より)

P1橋脚 $L = 1.550 \text{ m}$

3.4.3. 充填材

ポリマーセメントモルタル

ロス率 : 1.20

P1橋脚

$$\cancel{V} \frac{1.550}{\text{延長}} \times \frac{0.015}{\text{幅}} \times \frac{0.010}{\text{厚さ}} \times 1.20 = 0.0003 \text{ m}^3$$

ロス率なし = 0.0002 m³

1365 kg/m³ ※積算資料より

$$= 0.0002 \times 1365 \text{ kg} \quad \text{ロス率なし} = 0.273 \text{ kg}$$

4. 塗装塗替工

4.1. 塗装塗替工 集計表

工種	規格	単位	数量	備考
素地調整工	1種ケレン (分離式プラスト工法同等)	m ²	374.69	
塗装塗替工	鋳転換型防食塗装	m ²	373.39	支承除く
	特殊エポキシセラミック ク塗装	m ²	1.30	支承

4.2. 塗装塗替工 計算書

4.2.1. 素地調整面積

■ 1種ケレン

1) 主桁 桁長 L= 25.340 m

U FLG G1, G2 a1=	0.200 × 0.390 × 1面 × 2箇所 × 4桁	=	0.624 m ²
U FLG G1, G2 a2=	0.240 × 2.800 × 1面 × 2箇所 × 4桁	=	5.376 m ²
U FLG G1, G2 a3=	0.280 × 2.750 × 1面 × 2箇所 × 4桁	=	6.160 m ²
U FLG G1, G2 a4=	0.320 × 13.460 × 1面 × 1箇所 × 4桁	=	17.229 m ²
WB G1, G2 a=	1.000 × 25.340 × 2面 × 1箇所 × 4桁	=	202.720 m ²
L FLG G1, G2 a1=	0.200 × 0.390 × 2面 × 2箇所 × 4桁	=	1.248 m ²
L FLG G1, G2 a2=	0.240 × 2.800 × 2面 × 2箇所 × 4桁	=	10.752 m ²
L FLG G1, G2 a3=	0.280 × 2.750 × 2面 × 2箇所 × 4桁	=	12.320 m ²
L FLG G1, G2 a4=	0.320 × 13.460 × 2面 × 1箇所 × 4桁	=	34.458 m ²
控除 L-FLG G1, G2 a5=	0.200 × 0.250 × 1面 × 2箇所 × 4桁	=	-0.400 m ²

A1-A2間 主桁合計 ΣA1= 290.487 m²

2) 補剛材

G1, G2端支点垂直補剛材 n= 4 枚/桁

G1, G2垂直補剛材 n= 29 枚/桁

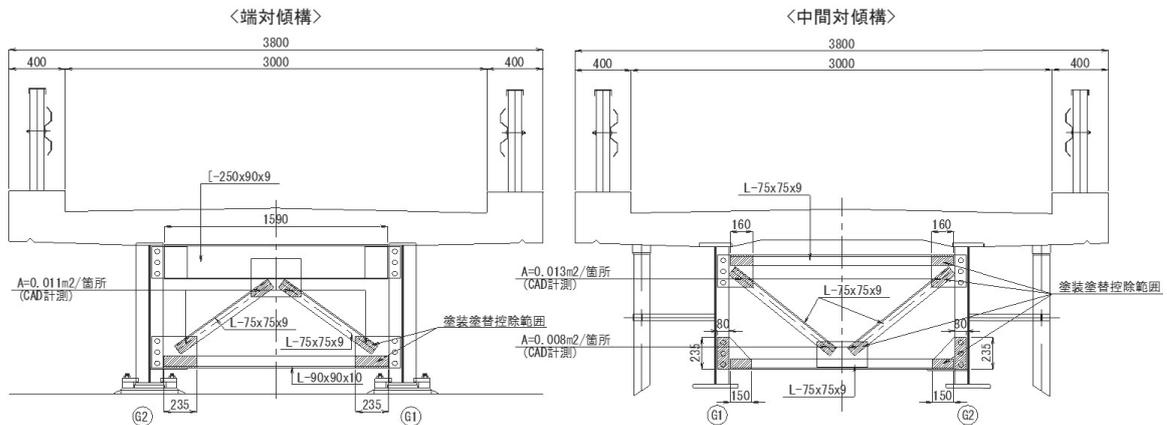
VS-SIIF G1, G2 a1=	0.090 × 1.000 × 2面 × 4枚 × 4桁	=	2.880 m ²
V-SIIF G1, G2 a2=	0.090 × 1.000 × 2面 × 29枚 × 4桁	=	20.880 m ²

A1-A2間 補剛材合計 ΣA2= 23.760 m²

3) 対傾構

■ 塗装塗替控除範囲図

断面図



① 端対傾構

$$L-90 \times 90 \times 10 : \frac{13.3 \text{ kg/m}}{\text{単位質量 (kg/m)}} \times \frac{0.0262 \text{ m}^2/\text{kg}}{\text{単位塗装面積 (m}^2/\text{kg)}} = 0.348 \frac{\text{m}^2}{\text{m}}$$

$$a1= 0.348 \times 1.600 \times 1 \times 4 = 2.227 \text{ m}^2$$

$$[-250 \times 90 \times 9 : \frac{34.6 \text{ kg/m}}{\text{単位質量 (kg/m)}} \times \frac{0.0235 \text{ m}^2/\text{kg}}{\text{単位塗装面積 (m}^2/\text{kg)}} = 0.813 \frac{\text{m}^2}{\text{m}}$$

$$a2= 0.813 \times 1.590 \times 1 \times 4 = 5.171 \text{ m}^2$$

$$a3= 0.230 \times 0.240 \times 2 \text{ 面} \times 2 \times 4 = 0.883 \text{ m}^2$$

$$a4= 0.130 \times 0.350 \times 1 \text{ 面} \times 2 \times 4 = 0.364 \text{ m}^2$$

$$L-75 \times 75 \times 9 : \frac{9.96 \text{ kg/m}}{\text{單位質量 (kg/m)}} \times \frac{0.0292 \text{ m}^2/\text{kg}}{\text{單位塗裝面積 (m}^2/\text{kg)}} = \frac{0.291 \text{ m}^2/\text{m}}{\text{型鋼部材周長 (m}^2/\text{m)}}$$

$$a5 = 0.291 \times 0.820 \times 2 \times 4 = 1.909 \text{ m}^2$$

$$\text{控除 } a6 = 0.090 \times 1.590 \times 1 \text{ 面} \times 1 \times 4 = -0.572 \text{ m}^2$$

$$\text{控除 } a7 = 0.090 \times 0.235 \times 2 \text{ 面} \times 2 \times 4 = -0.338 \text{ m}^2$$

$$\text{控除 } a8 = \frac{0.011 \text{ m}^2}{\text{(CAD計測)}} \times 2 \text{ 面} \times 4 \times 4 = -0.352 \text{ m}^2$$

②中間対傾構

$$L-75 \times 75 \times 9 : \frac{9.96 \text{ kg/m}}{\text{單位質量 (kg/m)}} \times \frac{0.0292 \text{ m}^2/\text{kg}}{\text{單位塗裝面積 (m}^2/\text{kg)}} = \frac{0.291 \text{ m}^2/\text{m}}{\text{型鋼部材周長 (m}^2/\text{m)}}$$

$$a9 = 0.291 \times 1.590 \times 2 \times 8 = 7.403 \text{ m}^2$$

$$a10 = 0.291 \times 0.930 \times 2 \times 8 = 4.330 \text{ m}^2$$

$$a11 = 0.235 \times 0.170 \times 2 \text{ 面} \times 2 \times 8 = 1.278 \text{ m}^2$$

$$a12 = 0.235 \times 0.240 \times 2 \text{ 面} \times 2 \times 8 \times 77\% = 1.390 \text{ m}^2$$

$$a13 = 0.360 \times 0.125 \times 1 \text{ 面} \times 2 \times 8 = 0.720 \text{ m}^2$$

$$\text{控除 } a14 = 0.075 \times 0.160 \times 2 \text{ 面} \times 2 \times 8 = -0.384 \text{ m}^2$$

$$\text{控除 } a15 = 0.075 \times 0.150 \times 2 \text{ 面} \times 2 \times 8 = -0.360 \text{ m}^2$$

$$\text{控除 } a16 = 0.080 \times 0.235 \times 2 \text{ 面} \times 2 \times 8 = -0.602 \text{ m}^2$$

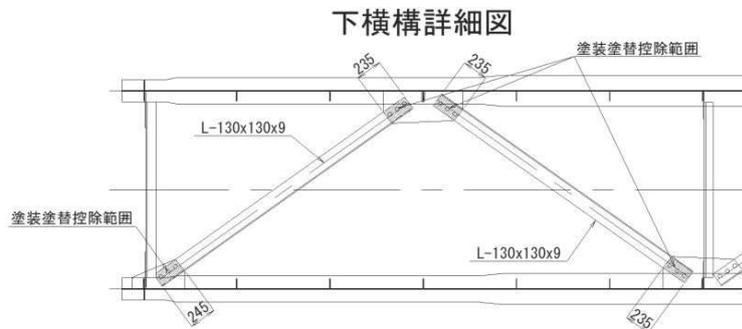
$$\text{控除 } a17 = \frac{0.013 \text{ m}^2}{\text{(CAD計測)}} \times 2 \text{ 面} \times 2 \times 8 = -0.416 \text{ m}^2$$

$$\text{控除 } a18 = \frac{0.008 \text{ m}^2}{\text{(CAD計測)}} \times 2 \text{ 面} \times 2 \times 8 = -0.256 \text{ m}^2$$

A1-A2間 対傾構合計 $\Sigma A3 = 22.395 \text{ m}^2$

4) 下横構

■塗装塗替控除範囲図



$$L-130 \times 130 \times 9 : \frac{17.9 \text{ kg/m}}{\text{單位質量 (kg/m)}} \times \frac{0.0285 \text{ m}^2/\text{kg}}{\text{單位塗裝面積 (m}^2/\text{kg)}} = \frac{0.510 \text{ m}^2/\text{m}}{\text{型鋼部材周長 (m}^2/\text{m)}}$$

$$a1 = 0.510 \times 2.760 \times 1 \times 10 \times 2 = 28.152 \text{ m}^2$$

$$a2 = 0.470 \times 0.265 \times 2 \text{ 面} \times 2 \times 2 \times 71\% = 0.707 \text{ m}^2$$

$$a3 = 0.710 \times 0.290 \times 2 \text{ 面} \times 8 \times 2 \times 92\% = 6.062 \text{ m}^2$$

$$a4 = 0.690 \times 0.290 \times 2 \text{ 面} \times 1 \times 2 \times 96\% = 0.768 \text{ m}^2$$

$$\text{控除 } a5 = 0.130 \times 0.245 \times 2 \text{ 面} \times 2 \times 2 = -0.255 \text{ m}^2$$

$$\text{控除 } a6 = 0.130 \times 0.235 \times 2 \text{ 面} \times 18 \times 2 = -2.200 \text{ m}^2$$

A1-A2間 下横構合計 $\Sigma A4 = 33.234 \text{ m}^2$

6) 排水装置

$$\begin{aligned}
 a1 &= 0.1143 \times \pi \times 1.060 \times 8 & = & 3.045 \text{ m}^2 \\
 a2 &= 0.580 \times 0.050 \times 2 \text{ 面} \times 8 & = & 0.464 \text{ m}^2 \\
 \text{A1-A2間 排水装置合計 } \Sigma A6 & & = & 3.509 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

7) 支承

全8箇所 (0.18m²/基)

$$\begin{aligned}
 a1 &= 0.18 \text{ m}^2 \times 8 \text{ 基} & = & 1.440 \text{ m}^2 \\
 \text{控除 } a2 &= 0.080 \times 0.215 \times 1 \text{ 面} \times 8 \text{ 基} & = & -0.138 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

$$\text{A1-A2間 支承合計 } \Sigma A7 = 1.302 \text{ m}^2$$

$$\begin{aligned}
 &\text{A1-A2間 合計 (}\Sigma A1 + \Sigma A2 + \Sigma A3 + \Sigma A4 + \Sigma A5 + \Sigma A6 + \Sigma A7) \\
 \Sigma A &= 290.487 + 23.760 + 22.395 + 33.234 + 3.509 + 1.302 & = & 374.69 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

4.2.2. 塗装塗替面積

■ 錆転換型防食塗装

$$\begin{aligned}
 \text{塗装塗替面積A} &= \text{素地調整 (1種ケレン) 面積} - \text{支承素地調整面積} \\
 &= 374.69 - 1.302 & = & 373.39 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

■ 特殊エポキシセラミック塗装

$$\begin{aligned}
 \text{塗装塗替面積A} &= \text{支承素地調整 (1種ケレン) 面積} & = & 1.30 \text{ m}^2
 \end{aligned}$$

5. 沓座モルタル打替工

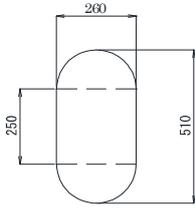
沓座モルタル打替工 総括表

工種	規格	単位	数量				備考	
			A1橋台	P1橋脚	A2橋台	合計		
支承		基	2	4	2	8		
撤去	既設モルタル	m ³	0.002	0.002	0.002	0.01	参考重量：0.02t	
	コンクリート はつり	t=30mm	m ²	0.288	0.576	0.288	1.15	
			m ³	0.009	0.017	0.009	0.04	参考重量：0.09t
	コンクリート カッター工	t=20mm	m	3.880	7.760	3.880	15.52	
復旧	無収縮モルタル	m ³	0.016	0.028	0.022	0.07		
	型枠	m ²	0.097	0.155	0.175	0.43		
	差筋アンカー	D10(SDB45)	本	8	16	8	32	必要長 L=25mm, L=30mm, L=50mm
	コンクリート削孔	φ14.5x45	孔	8	16	8	32	
	鉄筋質量	D10(SDB45)	kg	2	5	2	9	

5. 1. 数量根拠図

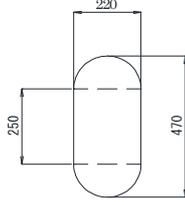
A1橋台 [全2箇所]

既設モルタル外形



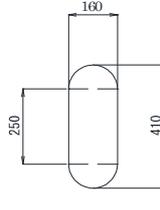
Aa1=0.118m²

はつり下面外形



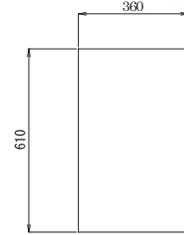
Aa2=0.093m²

支承外形



Aa3=0.060m²

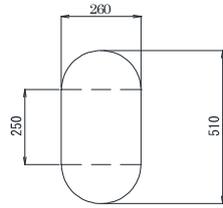
コンクリートはつり範囲
カッター工・無収縮モルタル範囲



Aa4=0.220m²

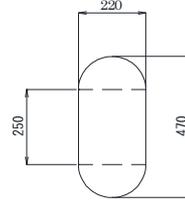
P1橋脚 [全4箇所]

既設モルタル外形



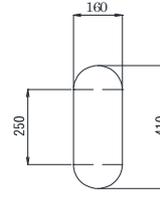
Ab1=0.118m²

はつり下面外形



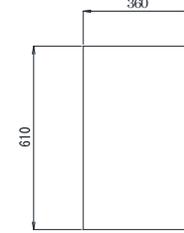
Ab2=0.093m²

支承外形



Ab3=0.060m²

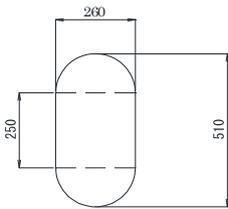
コンクリートはつり範囲
カッター工・無収縮モルタル範囲



Ab4=0.220m²

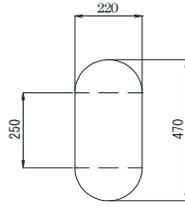
A2橋台 [全2箇所]

既設モルタル外形



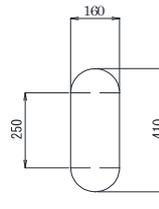
Ac1=0.118m²

はつり下面外形



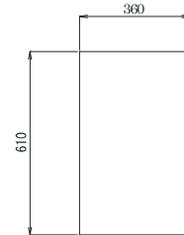
Ac2=0.093m²

支承外形



Ac3=0.060m²

コンクリートはつり範囲
カッター工・無収縮モルタル範囲



Ac4=0.220m²

※形状は全箇所同様

5.2. 沓座モルタル打替工 計算書

5.2.1. 対象支承

A1橋台（可動）	N1 =	2
P1橋脚（可動+固定）	N2 =	4
A2橋台（固定）	N3 =	2
対象支承合計	ΣN =	8 基

5.2.2. 各部外形面積

1) A1橋台

①既設モルタル外形面積=Aa1

$$A1 = \pi/4 \times 0.260^2 = 0.053 \text{ m}^2$$

$$A2 = 0.250 \times 0.260 = 0.065 \text{ m}^2$$

$$Aa1 \text{ 外形面積} = A1 + A2 = 0.118 \text{ m}^2$$

②はつり下面外形面積=Aa2

$$A3 = \pi/4 \times 0.220^2 = 0.038 \text{ m}^2$$

$$A4 = 0.250 \times 0.220 = 0.055 \text{ m}^2$$

$$Aa2 \text{ 外形面積} = A3 + A4 = 0.093 \text{ m}^2$$

③支承外形面積=Aa3

$$A5 = \pi/4 \times 0.160^2 = 0.020 \text{ m}^2$$

$$A6 = 0.250 \times 0.160 = 0.040 \text{ m}^2$$

$$Aa3 \text{ 外形面積} = A5 + A6 = 0.060 \text{ m}^2$$

④コンクリートはつり範囲外形=Aa4

$$Aa4 = 0.360 \times 0.610 = 0.220 \text{ m}^2$$

2) P1橋脚

①既設モルタル外形面積=Ab1

$$A1 = \pi/4 \times 0.260^2 = 0.053 \text{ m}^2$$

$$A2 = 0.250 \times 0.260 = 0.065 \text{ m}^2$$

$$Ab1 \text{ 外形面積} = A1 + A2 = 0.118 \text{ m}^2$$

②はつり下面外形面積=Ab2

$$A3 = \pi/4 \times 0.220^2 = 0.038 \text{ m}^2$$

$$A4 = 0.250 \times 0.220 = 0.055 \text{ m}^2$$

$$Ab2 \text{ 外形面積} = A3 + A4 = 0.093 \text{ m}^2$$

③支承外形面積=Ab3

$$A5 = \pi/4 \times 0.160^2 = 0.020 \text{ m}^2$$

$$A6 = 0.250 \times 0.160 = 0.040 \text{ m}^2$$

$$Ab3 \text{ 外形面積} = A5 + A6 = 0.060 \text{ m}^2$$

④コンクリートはつり範囲外形=Ab4

$$Ab4 = 0.360 \times 0.610 = 0.220 \text{ m}^2$$

3) A2橋台

①既設モルタル外形面積=Ac1

$$A1 = \pi/4 \times 0.260^2 = 0.053 \text{ m}^2$$

$$A2 = 0.260 \times 0.250 = 0.065 \text{ m}^2$$

$$Ac1 \text{ 外形面積} = A1 + A2 = 0.118 \text{ m}^2$$

②はつり下面外形面積=Ac2

$$A3 = \pi/4 \times 0.220^2 = 0.038 \text{ m}^2$$

$$A4 = 0.220 \times 0.250 = 0.055 \text{ m}^2$$

$$Ac2 \text{ 外形面積} = A3 + A4 = 0.093 \text{ m}^2$$

③支承外形面積=Ac3

$$A5 = \pi/4 \times 0.160^2 = 0.020 \text{ m}^2$$

$$A6 = 0.250 \times 0.160 = 0.040 \text{ m}^2$$

$$Ac3 \text{ 外形面積} = A5 + A6 = 0.060 \text{ m}^2$$

④コンクリートはつり範囲外形=Ac4

$$Ac4 = 0.360 \times 0.610 = 0.220 \text{ m}^2$$

5.2.3. 既設モルタルはつり工

モルタル厚： A1橋台= 26 mm (2 箇所)

P1橋脚= 19 mm (4 箇所)

A2橋台= 35 mm (2 箇所)

既設モルタル撤去数量

1)A1橋台

$$A1 = Aa1 - Aa3 = 0.118 - 0.060 = 0.058 \text{ m}^2$$

$$V1 = 0.058 \times 0.026 \times 1/2 \times 2 \text{ 箇所} = 0.002 \text{ m}^3$$

2)P1橋脚

$$A2 = Ab1 - Ab3 = 0.118 - 0.060 = 0.058 \text{ m}^2$$

$$V2 = 0.058 \times 0.019 \times 1/2 \times 4 \text{ 箇所} = 0.002 \text{ m}^3$$

3)A2橋台

$$A3 = Ac1 - Ac3 = 0.118 - 0.060 = 0.058 \text{ m}^2$$

$$V3 = 0.058 \times 0.035 \times 1/2 \times 2 \text{ 箇所} = 0.002 \text{ m}^3$$

$$\text{既設モルタル撤去体積合計 } V1+V2+V3 \text{ } \Sigma V = 0.01 \text{ m}^3$$

参考重量

$$W = 0.01 \times 2.100 \text{ t/m}^3 = 0.02 \text{ t}$$

5.2.4. コンクリートはつり工

深さ t= 30 mm

コンクリートはつり数量

1)A1橋台

$$\text{上面: } A = Aa4 - Aa3 = 0.220 - 0.060 = 0.160 \text{ m}^2$$

$$\text{下面: } A = Aa4 - Aa2 = 0.220 - 0.093 = 0.127 \text{ m}^2$$

$$\text{平均 } A = \left(\begin{matrix} \text{(上面)} \\ 0.160 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{(下面)} \\ 0.127 \end{matrix} \right) \times 1/2 = 0.144 \text{ m}^2$$

$$A1 = 0.144 \times 2 \text{ 箇所} = 0.288 \text{ m}^2$$

$$V1 = 0.288 \times 0.030 = 0.009 \text{ m}^3$$

2)P1橋脚

$$\text{上面: } A = Ab4 - Ab3 = 0.220 - 0.060 = 0.160 \text{ m}^2$$

$$\text{下面: } A = Ab4 - Ab2 = 0.220 - 0.093 = 0.127 \text{ m}^2$$

$$\text{平均 } A = \left(\begin{matrix} \text{(上面)} \\ 0.160 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{(下面)} \\ 0.127 \end{matrix} \right) \times 1/2 = 0.144 \text{ m}^2$$

$$A2 = 0.144 \times 4 \text{ 箇所} = 0.576 \text{ m}^2$$

$$V2 = 0.576 \times 0.030 = 0.017 \text{ m}^3$$

3)A2橋台

$$\text{上面: } A = Ac4 - Ac3 = 0.220 - 0.060 = 0.160 \text{ m}^2$$

$$\text{下面: } A = Ac4 - Ac2 = 0.220 - 0.093 = 0.127 \text{ m}^2$$

$$\text{平均 } A = \left(\begin{matrix} \text{(上面)} \\ 0.160 \end{matrix} + \begin{matrix} \text{(下面)} \\ 0.127 \end{matrix} \right) \times 1/2 = 0.144 \text{ m}^2$$

$$A3 = 0.144 \times 2 \text{ 箇所} = 0.288 \text{ m}^2$$

$$V3 = 0.288 \times 0.030 = 0.009 \text{ m}^3$$

$$\text{コンクリートはつり体積合計 } V1+V2+V3 \quad \Sigma V = 0.04 \text{ m}^3$$

参考重量

$$W = 0.04 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 0.09 \text{ t}$$

5.2.5. コンクリートカッター工

カッター延長(t=20mm)

1)A1橋台

$$La = (0.360 + 0.610) \times 2 = 1.940 \text{ m}$$

$$L1 = La \times 2 \text{ 箇所} = 3.880 \text{ m}$$

2)P1橋脚

$$Lb = (0.360 + 0.610) \times 2 = 1.940 \text{ m}$$

$$L2 = Lb \times 4 \text{ 箇所} = 7.760 \text{ m}$$

3)A2橋台

$$Lc = (0.360 + 0.610) \times 2 = 1.940 \text{ m}$$

$$L3 = Lc \times 2 \text{ 箇所} = 3.880 \text{ m}$$

$$\text{コンクリートカッター延長合計 } L1+L2+L3 \quad \Sigma L = 15.52 \text{ m}$$

5.2.6. 無収縮モルタル

1) A1橋台

厚さ $t = 55 \text{ mm}$ (上面 $t = 25 \text{ mm}$ 下面 $t = 30 \text{ mm}$)

上部

$$V1 = (Aa4: 0.220 - Aa3: 0.060) \times 0.025 = 0.004 \text{ m}^3$$

下部

$$V2 = ((Aa4: 0.220 - Aa3: 0.060) + (Aa4: 0.220 - Aa2: 0.093)) \times 1/2 \times 0.030 = 0.004 \text{ m}^3$$

$$Va = (0.004 + 0.004) \times 2 \text{ 箇所} = 0.016 \text{ m}^3$$

2) P1橋脚

厚さ $t = 50 \text{ mm}$ (上面 $t = 20 \text{ mm}$ 下面 $t = 30 \text{ mm}$)

上部

$$V1 = (Ab4: 0.220 - Ab3: 0.060) \times 0.020 = 0.003 \text{ m}^3$$

下部

$$V2 = ((Ab4: 0.220 - Ab3: 0.060) + (Ab4: 0.220 - Ab2: 0.093)) \times 1/2 \times 0.030 = 0.004 \text{ m}^3$$

$$Vb = (0.003 + 0.004) \times 4 \text{ 箇所} = 0.028 \text{ m}^3$$

3) A2橋台

厚さ $t = 75 \text{ mm}$ (上面 $t = 45 \text{ mm}$ 下面 $t = 30 \text{ mm}$)

上部

$$V1 = (Ac4: 0.220 - Ac3: 0.060) \times 0.045 = 0.007 \text{ m}^3$$

下部

$$V2 = ((Ac4: 0.220 - Ac3: 0.060) + (Ac4: 0.220 - Ac2: 0.093)) \times 1/2 \times 0.030 = 0.004 \text{ m}^3$$

$$Vc = (0.007 + 0.004) \times 2 \text{ 箇所} = 0.022 \text{ m}^3$$

$$\text{無収縮モルタル体積合計 } Va+Vb+Vc \quad \Sigma V = 0.07 \text{ m}^3$$

5.2.7. 型枠面積

1) A1橋台 高さ $h = 25 \text{ mm}$

$$A1 = (0.360 + 0.610) \times 2 \times 0.025 \times 2 \text{ 箇所} = 0.097 \text{ m}^2$$

2) P1橋脚 高さ $h = 20 \text{ mm}$

$$A2 = (0.360 + 0.610) \times 2 \times 0.020 \times 4 \text{ 箇所} = 0.155 \text{ m}^2$$

3) A2橋台 高さ $h = 45 \text{ mm}$

$$A3 = (0.360 + 0.610) \times 2 \times 0.045 \times 2 \text{ 箇所} = 0.175 \text{ m}^2$$

$$\text{型枠面積合計 } A1+A2+A3 \quad \Sigma A = 0.43 \text{ m}^2$$

5.2.8. 差筋アンカー

1) A1橋台 : D10(SD345)用 必要長 L=30mm

$$N1 = 4 \text{ 本} \times 2 \text{ 箇所} = 8 \text{ 本}$$

2) P1橋脚 : D10(SD345)用 必要長 L=25mm

$$N2 = 4 \text{ 本} \times 4 \text{ 箇所} = 16 \text{ 本}$$

3) A2橋台 : D10(SD345)用 必要長 L=50mm

$$N3 = 4 \text{ 本} \times 2 \text{ 箇所} = 8 \text{ 本}$$

$$\text{差筋アンカー本数合計 } N1+N2+N3 \quad \Sigma N = 32 \text{ 本}$$

5.2.9. コンクリート削孔工

1) A1橋台 : $\phi 14.5 \times 45$

$$N1 = 4 \text{ 本} \times 2 \text{ 箇所} = 8 \text{ 孔}$$

2) P1橋脚 : $\phi 14.5 \times 45$

$$N2 = 4 \text{ 本} \times 4 \text{ 箇所} = 16 \text{ 孔}$$

3) A2橋台 : $\phi 14.5 \times 45$

$$N3 = 4 \text{ 本} \times 2 \text{ 箇所} = 8 \text{ 孔}$$

$$\text{コンクリート削孔工合計 } N1+N2+N3 \quad \Sigma N = 32 \text{ 孔}$$

5.2.10. 鉄筋質量

A1橋台

種別	寸法・長さ	個数	WM	WT/1個	質量	材質	Net	摘要
帯筋①	D10 × 1110	4	0.560	0.6216	2	SDB45		
A1橋台鉄筋質量 $\Sigma W =$					2	kg		

P1橋脚

種別	寸法・長さ	個数	WM	WT/1個	質量	材質	Net	摘要
帯筋①	D10 × 1110	8	0.560	0.6216	5	SDB45		
P1橋脚鉄筋質量 $\Sigma W =$					5	kg		

A2橋台

種別	寸法・長さ	個数	WM	WT/1個	質量	材質	Net	摘要
帯筋①	D10 × 1110	4	0.560	0.6216	2	SDB45		
A2橋台鉄筋質量 $\Sigma W =$					2	kg		

$$\text{鉄筋質量合計 } D10(SD345) = 9 \text{ kg}$$

6. 伸縮装置取替工

6.1. 数量集計表

6.1.1. 伸縮装置 数量集計表

工種		単位	A1	P1	A2	合計	備考
伸縮装置本体	伸縮量40mmタイプ	m	3.000	-	3.000	6.000	鋼製荷重支持型
	伸縮量50mmタイプ	m	-	3.000	-	3.000	鋼製荷重支持型
はつり工		m ³	0.121	0.117	0.117	0.355	
コンクリート殻		t	0.3	0.3	0.3	0.9	参考重量
超速硬コンクリート		m ³	0.121	0.117	0.117	0.355	
鉄筋		kg	11.9	11.9	11.9	35.7	D13
差筋アンカー		本	60	60	60	180	D13
コンクリート削孔		本	60	60	60	180	φ18×56
二重止水材	一般用	m	2.000	2.000	2.000	6.000	クローザー (繊維補強ゴムシート)
		本	2	2	2	6	
	端部用 (400)	m	1.800	1.800	1.800	5.400	クローザー (繊維補強ゴムシート)
		本	2	2	2	6	
固定金具	橋台部	個	6	-	6	12	ステン厚サドルバンド
	橋脚部	個	-	2	-	2	クリップ
アンカーボルト		本	12	-	12	24	あと施工アンカー
地覆端部材		箇所	2	2	2	6	
端部排水処理工		箇所	2	2	2	6	
シーリング材		ℓ	2.046	2.232	2.046	6.324	
伸縮装置撤去		kg	249	249	249	747	

6.1.2. 地覆形成 数量総括表

工種	単位	A1	A2	合計	備考
超速硬コンクリート	m ³	0.036	0.036	0.072	
鉄筋	kg	2	2	4	D13(SD345)
差筋アンカー	本	8	8	16	D13×105
コンクリート削孔	本	8	8	16	φ18×56
鉄筋探査	m ²	0.24	0.24	0.48	下向き
型枠	m ²	0.42	0.42	0.84	
チップング面積	m ²	0.24	0.24	0.48	

6.2. 伸縮装置取替工 計算書

6.2.1. 伸縮装置 計算書

A1

- (1) 伸縮装置本体 (伸縮量 40mmタイプ)
 $L = 3.000 \text{ m}$
- (2) はつり工
 $V = (0.300 + 0.278) \times 0.070 \times 3.000 = 0.121 \text{ m}^3$
コンクリート殻 参考重量 (無筋)
 $W = 0.121 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.3 \text{ t}$
- (3) 超速硬コンクリート
 $V = (0.300 + 0.278) \times 0.070 \times 3.000 = 0.121 \text{ m}^3$
- (4) 鉄筋 (D13)
 $W = 0.995 \times 3.000 \times 4 = 11.9 \text{ kg}$
- (5) 差筋アンカー (D13)
 $N = (3.000 / 0.200) \times 4 = 60 \text{ 本}$
- (6) コンクリート削孔 ($\phi 18 \times 56$)
 $N = (3.000 / 0.200) \times 4 = 60 \text{ 本}$
- (7) 二重止水材
一般用
 $L = 1.000 \times 2 = 2.000 \text{ m}$
 $N = 2 \text{ 本}$
端部用 (400)
 $L = 0.900 \times 2 = 1.800 \text{ m}$
 $N = 2 \text{ 本}$
- (8) 固定金具 (ステン厚サドルバンド)
 $N = 3 \times 2 = 6 \text{ 個}$
- (9) アンカーボルト (あと施工アンカー)
 $N = 2 \times 6 = 12 \text{ 本}$
- (10) 地覆端部材
 $N = 2 \text{ 箇所}$
- (11) 端部排水処理工
 $N = 2 \text{ 箇所}$
- (12) シーリング材
 $L = (0.065 + 0.400) \times 2 = 0.930 \text{ m}$
 $V = 0.930 \times 0.020 \times 0.110 \times 1000 = 2.046 \text{ l}$

P1

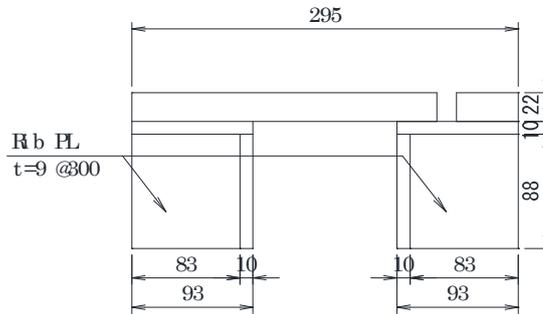
- (1) 伸縮装置本体 (伸縮量 50mmタイプ)
L = = 3.000 m
- (2) はつり工
V = (0.278 + 0.278) × 0.070 × 3.000 = 0.117 m³
コンクリート殻 参考重量 (無筋)
W = 0.117 × 2.35 t/m³ = 0.3 t
- (3) 超速硬コンクリート
V = (0.278 + 0.278) × 0.070 × 3.000 = 0.117 m³
- (4) 鉄筋 (D13)
W = 0.995 × 3.000 × 4 = 11.9 kg
- (5) 差筋アンカー (D13)
N = (3.000 / 0.200) × 4 = 60 本
- (6) コンクリート削孔 (φ18×56)
N = (3.000 / 0.200) × 4 = 60 本
- (7) 二重止水材
一般用
L = 1.000 × 2 = 2.000 m
N = 2 本
端部用 (400)
L = 0.900 × 2 = 1.800 m
N = 2 本
- (8) 固定金具 (クリップ)
N = = 2 個
- (9) 地覆端部材
N = = 2 箇所
- (10) 端部排水処理工
N = = 2 箇所
- (11) シーリング材
L = (0.065 + 0.400) × 2 = 0.930 m
V = 0.930 × 0.020 × 0.120 × 1000 = 2.232 ℓ

A2

- (1) 伸縮装置本体 (伸縮量 40mmタイプ)
 $L = 3.000 \text{ m}$
- (2) はつり工
 $V = (0.278 + 0.280) \times 0.070 \times 3.000 = 0.117 \text{ m}^3$
 コンクリート殻 参考重量 (無筋)
 $W = 0.117 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.3 \text{ t}$
- (3) 超速硬コンクリート
 $V = (0.278 + 0.280) \times 0.070 \times 3.000 = 0.117 \text{ m}^3$
- (4) 鉄筋 (D13)
 $W = 0.995 \times 3.000 \times 4 = 11.9 \text{ kg}$
- (5) 差筋アンカー (D13)
 $N = (3.000 / 0.200) \times 4 = 60 \text{ 本}$
- (6) コンクリート削孔 ($\phi 18 \times 56$)
 $N = (3.000 / 0.200) \times 4 = 60 \text{ 本}$
- (7) 二重止水材
 一般用
 $L = 1.000 \times 2 = 2.000 \text{ m}$
 $N = 2 \text{ 本}$
 端部用 (400)
 $L = 0.900 \times 2 = 1.800 \text{ m}$
 $N = 2 \text{ 本}$
- (8) 固定金具 (ステン厚サドルバンド)
 $N = 3 \times 2 = 6 \text{ 個}$
- (9) アンカーボルト (あと施工アンカー)
 $N = 2 \times 6 = 12 \text{ 本}$
- (8) 地覆端部材
 $N = 2 \text{ 箇所}$
- (9) 端部排水処理工
 $N = 2 \text{ 箇所}$
- (10) シーリング材
 $L = (0.065 + 0.400) \times 2 = 0.930 \text{ m}$
 $V = 0.930 \times 0.020 \times 0.110 \times 1000 = 2.046 \text{ l}$

伸縮装置撤去重量 (A1, P1, A2)

既設スライドジョイント断面図(推定)



〈1基あたり〉

鋼製スライドジョイント

$$L = \quad \quad \quad = 3.000 \text{ m}$$

フェースPL t=22

$$W = 0.295 \times 3.000 \times 0.022 \times 7850 \text{ kg/m}^3 = 153 \text{ kg}$$

PL① t=10

$$W = 0.093 \times 3.000 \times 0.010 \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 2 = 44 \text{ kg}$$

PL② t=10

$$W = 0.088 \times 3.000 \times 0.010 \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 2 = 41 \text{ kg}$$

Rib PL t=9 @300mm想定

$$N = 3.000 / 0.300 \times 2 = 20 \text{ 枚}$$

$$W = 0.088 \times 0.083 \times 0.010 \times 7850 \text{ kg/m}^3 \times 20 = 11 \text{ kg}$$

・重量合計

$$\Sigma W = 153 + 44 + 41 + 11 = 249 \text{ kg}$$

6.2.2. 地覆形成 計算書

A1, A2 (1 橋台当り)

(1) 超速硬コンクリート

$$V = 0.400 \times 0.300 \times 0.150 \times 2 = 0.036 \text{ m}^3$$

(2) 鉄筋 (D13(SB45))

番号	径	長さ (mm)	員数	単位数 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)
①	D13	260	4	0.995	0.26	1
②	D13	160	4	0.995	0.16	1
D13合計					(SB45)	2

kg

(3) 差筋アンカー (D13×105)

$$N = 4 \times 2 = 8 \text{ 本}$$

(4) コンクリート削孔 (φ18×56)

$$N = 4 \times 2 = 8 \text{ 本}$$

(5) 鉄筋探査 (下向き)

$$A = 0.400 \times 0.300 \times 2 = 0.24 \text{ m}^2$$

(6) 型枠面積

$$A = (0.400 + 0.300) \times 2 \times 0.150 \times 2 = 0.42 \text{ m}^2$$

(7) チッピング

$$A = 0.400 \times 0.300 \times 2 = 0.24 \text{ m}^2$$

7. 表面保護工

7.1. 表面保護工 集計表

工種		単位	数量	摘要
			A1~A2	
表面含浸工	反応型けい酸塩系表面含浸材	m ²	176.23	標準塗布量:0.23kg/m ² (舗装、地覆)

7.2. 表面保護工 計算書

7.2.1. 反応型けい酸塩系表面含浸材

・舗装

A1~P1

$$A1 = 3.000 \times 25.145 = 75.44 \text{ m}^2$$

P1~A2

$$A2 = 3.000 \times 25.155 = 75.47 \text{ m}^2$$

・地覆

A1~P1

$$A3 = 0.250 \times 25.317 \times 2 \text{ 箇所} = 12.66 \text{ m}^2$$

P1~A2

$$A4 = 0.250 \times 25.317 \times 2 \text{ 箇所} = 12.66 \text{ m}^2$$

$$\text{A1-A2間 表面保護工合計 } \Sigma A = 176.23 \text{ m}^2$$

・含浸材使用量

$$176.23 \times \text{※標準塗布量(kg/m}^2\text{): } 0.23 = 40.53 \text{ kg}$$

8. 排水装置設置工

8.1. 排水装置設置工 数量集計表

工種		規格	単位	数量	備考
新設 排水ます	排水ます	SUS製	箇所	4	
	コンクリートはつり	t=56~63mm	m ²	0.54	
			m ³	0.03	コンクリート殻 参考重量:0.1t
	コンクリートカッター工	t=30mm	m	4.240	
	鉄筋探査	下向き	m ²	1.00	
	コア削孔	φ110×173	箇所	4	コンクリート殻:0.01m ³ 参考重量:0.02t
	樹脂充填	エポキシ樹脂系 γ=1.2	kg	2.6	
	シール材	エポキシ樹脂系 γ=1.7	kg	0.9	
無収縮モルタル		m ³	0.02		
新設 排水管	排水管	直管 VP100A	箇所	4	
			m	5.276	
	鋼材	SS400	kg	1	
	新設ボルト	M10×30	本	16	
溶融亜鉛メッキ	HZT49	kg	1		
支持金具 (4組分)	鋼材	SM400A	kg	8	
		SS400	kg	16	
	工場溶接		m	0.178	6mm換算長
	溶融亜鉛メッキ	HZT77, HZT49	kg	24	
	現場孔明	φ14	箇所	8	

8.2. 排水装置設置工 計算書

8.2.1. 新設排水ます

1) 排水ます (SUS製)
 $N = 2 \times 2 = 4$ 箇所

2) コンクリートはつり (t=56~63mm)
 $A = 0.320 \times 0.420 \times 4$ 箇所 = 0.54 m²
 $V = 0.54 \text{ m}^2 \times (0.056 + 0.063) / 2 = 0.03 \text{ m}^3$
 コンクリート殻 参考重量 (無筋)
 $W = 0.03 \text{ m}^3 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 0.1 \text{ t}$

3) コンクリートカッター工 (t=30mm)
 $L = (0.320 \times 2 + 0.420) \times 4$ 箇所 = 4.240 m

4) 鉄筋探査 (下向き)
 鉄筋探査範囲は、1箇所当たり500mm×500mmとして算出する。
 $A = 0.500 \times 0.500 \times 4$ 箇所 = 1.00 m²

5) コア削孔 (φ110×173)
 $N = 2 \times 2 = 4$ 箇所
 コンクリート殻 参考重量 (無筋)
 $V = \pi / 4 \times 0.110^2 \times 0.173 \times 4$ 箇所 = 0.01 m³
 $W = 0.01 \text{ m}^3 \times 2.350 \text{ t/m}^3 = 0.02 \text{ t}$

6) 樹脂充填 (エポキシ樹脂系 γ=1.2)
 1箇所当たり
 $w = (\pi / 4 \times 0.110^2 \times 0.173 - \pi / 4 \times 0.090^2 \times 0.173) \times 1200 = 0.65 \text{ kg/箇所}$
 合計(計4箇所)
 $W = 0.65 \text{ kg/箇所} \times 4 \text{ 箇所} = 2.6 \text{ kg}$

7) シール材 (エポキシ樹脂系 γ=1.7)
 周長
 $L = 90 \times \pi = 283 \text{ mm}$
 重量(1箇所当たり)
 $w = 0.283 \times 0.030^2 / 2 \times 1700 = 0.22 \text{ kg/箇所}$
 重量合計(計4箇所)
 $W = 0.22 \text{ kg/箇所} \times 4 \text{ 箇所} = 0.9 \text{ kg}$

8) 無収縮モルタル
 $V = (0.320 \times 0.420 - 0.220 \times 0.220) \times (0.056 + 0.063) / 2 \times 4$ 箇所 = 0.02 m³

8.2.2. 新設排水管

1) 排水管 (直管 VP100A)
 $N = 2 \times 2 = 4$ 箇所
 $L = 1.319 \times 4$ 箇所 = 5.276 m

2) 鋼材重量

種別	寸法・長さ	個数	W/M	WT/1個	質量(kg)	材質	Net	摘要
Bolt	M0	30	16	0.033	1	SS400		1種, 1W
					$\Sigma W =$	1	kg	

3) 新設ボルト本数

M10×30
 $N = 4 \times 4$ 箇所 = 16 本

4) 溶融亜鉛メッキ (HZT49)

W (1) 鋼材重量と同様 = 1 kg

8.2.3. 支持金具

1) 鋼材重量

種別	寸法・長さ	個数	W/M	WT/1個	質量(kg)	材質	Net	摘要
PL	50 × 6.0 ×	296	2	2.355	0.697	1	SS400	鋼板
PL	50 × 6.0 ×	436	1	2.355	1.027	1	SS400	鋼板
PL	50 × 6.0 ×	79	1	2.355	0.186	1	SM400A	鋼板
PL	70 × 6.0 ×	200	1	3.297	0.659	1	SM400A	鋼板
BN	M2	35	2		0.046	1	SS400	1種, 2W
BN	M2	40	3		0.050	1	SS400	1種, 2W
					1組当たり $\Sigma W =$	6	kg	
					$4@ \Sigma W =$	24	kg	
					(SM400A)	8	kg	
					(SS400)	16	kg	

2) 工場溶接

4mmすみ肉溶接 延長
 $L = (0.050 + 0.050) \times 4$ 組 = 0.400 m
 6mmすみ肉溶接換算長
 換算率: 0.444
 $L = 0.400$ m × 0.444 (換算率) = 0.178 m

3) 溶融亜鉛メッキ (HZT77, HZT49)

W (1) 鋼材重量と同様 = 24 kg

4) 現場孔明 (φ14)

主桁腹板
 $N = 2 \times 4$ 箇所 = 8 箇所

9. 防護柵補修工

9.1. 防護柵補修工 数量総括表

工種	規格	単位	数量	備考
防護柵嵩上げ工		m	103.0	
ガス切断	支柱 φ 114.3 t=4.5:推定	m	20.11	
笠木取替工		m	102.0	
ビーム取替工		m	103.0	
撤去重量		kg	1347	鋼重
ビームパイプ設置工	φ 42.7×2.3	m	102.0	
支柱塗装塗替工	Ra-III 塗装系	m ²	11.06	

9.2. 防護柵補修工 計算書

1) 防護柵嵩上げ工
 $L = 51.500 + 51.500 = 103.00 \text{ m}$

2) ガス切断 (支柱 φ 114.3 t=4.5:推定)
 $L = \phi 114.3 \times \pi \times 28 \text{ 箇所} \times 2 = 20.11 \text{ m}$

3) 笠木取替工
 $L = 51.000 + 51.000 = 102.00 \text{ m}$

4) ビーム取替工
 $L = 51.500 + 51.500 = 103.00 \text{ m}$

5) 撤去重量
 支柱 φ 114.3 t=4.5:推定 単位質量:12.2kg/m (デザインデータブック参照)
 $W = 12.2 \text{ kg/m} \times 0.200 \times 28 \text{ 箇所} \times 2 = 137 \text{ kg}$

笠木 [134x40x3.2
 $W = (0.134 + 0.040 + 0.040) \times 0.0032 \times 102.0 \text{ m} \times 7850 \text{ kg/m}^3 = 548 \text{ kg}$

笠木取付PL 250x120x3.2 (推定)
 $W = 0.250 \times 0.120 \times 0.0032 \times 28 \text{ 箇所} \times 2 \times 7850 \text{ kg/m}^3 = 42 \text{ kg}$

ビーム 単位質量:7.60kg/m (推定)
 $W = 6.02 \text{ kg/m} \times 103.0 \text{ m} = 620 \text{ kg}$

$\Sigma W = 137 + 548 + 42 + 620 = 1347 \text{ kg}$

6) ビームパイプ設置工 (φ 42.7×2.3)
 $L = 51.000 + 51.000 = 102.00 \text{ m}$

7) 支柱塗装塗替工 (Ra-III 塗装系)
 $A = \phi 114.3 \times \pi \times 0.550 \times 28 \text{ 箇所} \times 2 = 11.06 \text{ m}^2$

10. 足場工

10.1. 足場工数量総括表

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
吊り足場	タイプA3	m ²	181.2	ブラスト養生面積も同様
朝顔防護足場	タイプE	m ²	81.2	ブラスト養生面積も同様
床面シート張り防護		m ²	181.2	
橋梁点検車		式	1	

10.2. 数量計算

10.2.1. 吊り足場(タイプA3)

$$A = 3.800 \times (23.832 + 23.850) = 181.2 \text{ m}^2$$

10.2.2. 朝顔防護足場(タイプE)

$$A1 \sim A2 \quad A = 0.800 \times 50.780 \times 2 = 81.2 \text{ m}^2$$

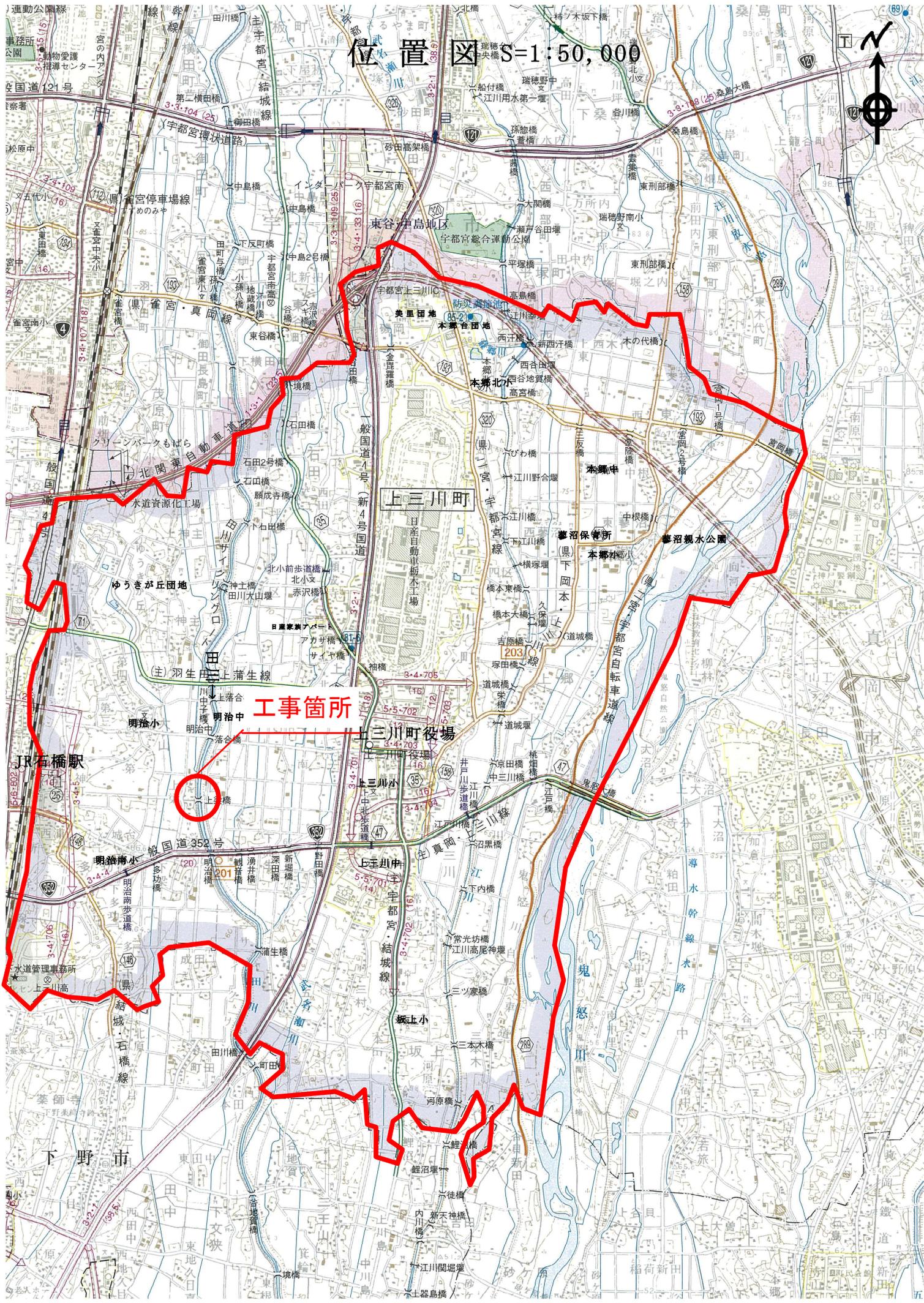
10.2.3. 床面シート張り防護

$$A = \text{吊り足場面積と同様} = 181.2 \text{ m}^2$$

10.2.5. 橋梁点検車 (下部工補修のみ)

$$N = 1 = 1 \text{ 式}$$

位置図 S=1:50,000



工事箇所

上三川町役場

JR石橋駅

上三川

下野市

特記仕様書 (●:適用する ○:適用しない)

項目	事項
工程関係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 本工事の工期は、週休2日制及び雨天、その他年末年始休暇等を見込んでいる。 ●2 河川工事に関する工事であるため、出水期を考慮している。 ○3 本工事区間は、現在 _____ 工事が _____ 月 _____ 日頃まで施工中なので、工程等に注意すること。 ●4 河川管理者(宇都宮土木事務所)と協議の結果、仮設等の条件が変更されることがあるので、工程等に注意すること。 ○5 その他 内容:
用地関係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 工事用地等に未処理部分があるので、監督員と協議のうえ、立入り等を行うこと。 なお、平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日頃、解決の見込である。 ○2 その他 内容:
公害対策関係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵等)のため、次のとおり行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> A. 施工方法: 研削材再生利用型プラスト工法(分離式プラスト工法) B. 機械施設: C. 作業時間: ●2 本工事の着手と完成時に、付近の家屋及び工作物等の外観調査を行い、工事による影響を把握すること。なお、調査方法、範囲等については、監督員と協議すること。 ●3 その他 内容: 塗膜に有害物質が含まれるため、河川等への飛散防止を徹底すること
安全対策関係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 全作業員に対して、工事期間中定期的に安全教育、研修訓練を、月1回・半日以上必ず行い、施工計画書等に明記すること。特に、作業員が変わったとき及び、作業内容に変更があったときは必ず行うこと。 ●2 一般交通の支障となる箇所には、交通安全管理に十分注意し、道路工事保安施設設置基準により保安施設等を設置し施工すること。 ●3 交通整理員については、警備業者の作業員とし交通整理及び、作業車の誘導等の作業を行うものとする。また、配置場所については、最も適切な位置を選定すること。 交通整理人は、延べ 30 名配置を設計で見込んでいるが、警察等の協議により変更が生じた場合は別途協議による。 なお、工事完了後、安全管理についての交通整理日報(様式-1)を提出すること。 ●4 車道の通行規制について、原則として次のとおり行うこと。なお、必要に応じて監督員と別途協議するものとする。 <ul style="list-style-type: none"> ○4.1 片側交互通行の規制による。 ●4.2 通行止の規制による。(足場設置・撤去時のみ) ●5 その他 内容: 塗膜除去の際、有害物質を含むため、安全施設等を徹底すること。
過積載防止対策関係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 請負者は、工事の施工にあたって、次の事項を遵守するものとする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 積載重量制限を超えて工事用資材・土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 (2) 差枠装着車、不表示車等に工事用資材・土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 (3) 過積載車両、差枠装着車、不表示車等から工事用資材・土砂等の引渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。 (4) 取引関係のあるダンプトラック等事業者が過積載を行っている場合又は、差枠装着車、不表示車等を工事用資材・土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (5) 建設発生土の処理及び、骨材等資材の購入にあたっては、下請け業者及び、骨材等資材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 (6) 以上のことにつき、下請け業者、資材運搬業者等にも十分に指導すること。 ○2 その他 内容:
工事用道路関係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 搬入路の取扱は、次のとおり行うものとする。 内容: ○2 仮設道路を次のとおり設置する。 内容: ●3 周辺道路への損傷を把握するため、着工前と完成後に現状調査を実施すること。 ○4 その他 内容:
仮設備関係	<ul style="list-style-type: none"> ●1 仮設備の構造及び、その施工法を次のとおり指定する。 内容: 塗装足場工(1種ケレン(分離式プラスト工法)・PCB等有害物質飛散防止施設) ●2 仮設備(現場事務所、資材置き場、工事用通路等)の設置のために、農地又は採草放牧地(以下「農地等」という。)を借地する場合は次のとおりとする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 農地等が租税特別措置法による納税猶予等の対象となっているときは仮設予定地としてはならない。 (2) 請負者は、登記簿等により農地等に関する資料を収集し、監督員と協議するものとする。資料収集に要する費用は、本工事の請負代金から請負者が負担するものとする。 (3) 農地等の借地権は町が取得することとするが、その契約に要する費用及び賃貸料は、本工事の請負代金から請負者が負担するものとする。 (4) 農地等は必ず現状に回復し、農地等所有者に返還するものとする。
排水工(濁水処理を含む)関係	<ul style="list-style-type: none"> ○1 河川土工等で、河川を汚濁させる場合は事前に協議のうえ、その対策の措置を講ずること。 ○2 濁水、湧水等の処理で次の対策を行うこと。 内容: ○3 その他 内容:
工事支障物件等	<ul style="list-style-type: none"> ○1 電柱・地下埋設等の占用物件の工事支障物については、次のとおり行う予定である。 <ul style="list-style-type: none"> A、支障物件: B、移設・撤去方法: C、移設・撤去時期: ●2 工事区間には、占用物件[上水道・下水道・電話・電気・ガス等]がある(又は工事中)ので、占用物件管理者と施工方法、工程管理等の打合せを行い、工事に支障のないように調整すること。 ○3 その他 内容:

項目	事項																											
建設副産物関係	<p>●1 建設発生土管理基準関係</p> <p>① 工事を実施するにあたっては、再生資源利用〔促進〕計画書を施工計画書に添付するものとし、法令等に基づき、工事現場の公衆の見やすい場所に掲げること。計画書の実施状況については、再生資源利用〔促進〕実施書を作成して、工事完成後速やかに実施書を発注者に提出し、COBRISに情報の登録をすませ監督員に確認させること。また、これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと。なお、監督員の承諾を得て、施工計画書を省略する場合でも、再生資源利用〔促進〕実施書は提出するものとする。</p> <p>また、再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)の作成にあたり、再生資源利用〔促進〕計画書(実施書)入カシステムを利用するものとする。</p> <p>② 建設副産物処理に先立ち、別紙建設副産物処理承認申請書により監督員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。</p> <p>③ 建設廃棄物の処分にあたって、排出事業者(元請業者)は処理業者と建設廃棄物処理委託契約書を締結し、建設副産物処理委託契約書を監督員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約書を締結すること。</p> <p>④ 建設副産物処理完了後速やかに別紙建設副産物処理調査書を作成し、監督員に2部提出するとともに、実際に要した処理等を証明する資料(位置図、写真等)を提示し確認を受け、竣工図書に添付すること。</p> <p>⑤ 建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票(マニフェスト)」の交付・回収した各票を監督員に提示し確認を受け、E票の写しを竣工図書に添付すること。</p> <p>なお、回収したマニフェストについては廃棄物の処理及び清掃に関する法律を踏まえ適切に保存すること。</p> <p>●2 建設副産物の処理基準関係</p> <p>○土砂捨土処理について</p> <p>①土砂処理条件(小割・仮置き等)</p> <p>イ)捨土の種類 岩魂は、径30cm未満に破砕するものとする。最大寸法30cm未満の塊を含む土砂を処理することは可。 ロ)日曜・祭日・夜間の捨土は原則として不可。 ハ)夜間発生土の土砂は、仮置きして運搬捨土するものとする。</p> <p>②土砂処理場所</p> <p>○指定(A) 残土の処分場所は、_____とする。 ○指定(B) 残土の処分場所は、8.0kmの範囲内に処理すると想定するが、発注後、請負者の裁量により処分地を確保するものとし、運搬距離については別途協議する。</p> <p>●建設リサイクル法対象工事について</p> <p>1. 本工事から発生する特定建設資材廃棄物は、建設リサイクル法に基づき、分別解体及び再資源化等の実施について適正に処理するものとする。</p> <p>①分別解体の方法</p>																											
	<table border="1" data-bbox="331 992 1524 1193"> <thead> <tr> <th data-bbox="336 992 406 1193">工程及び解体方法</th> <th data-bbox="406 992 730 1014">工程</th> <th data-bbox="730 992 1098 1014">作業内容</th> <th data-bbox="1098 992 1519 1014">分別解体の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="336 1014 406 1037">①仮設</td> <td data-bbox="406 1014 730 1037">仮設工事</td> <td data-bbox="730 1014 1098 1037">☑有 ☐無</td> <td data-bbox="1098 1014 1519 1037">☐手作業 ☑手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1037 406 1059">②土工</td> <td data-bbox="406 1037 730 1059">土工</td> <td data-bbox="730 1037 1098 1059">☐有 ☑無</td> <td data-bbox="1098 1037 1519 1059">☐手作業 ☐手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1059 406 1081">③基礎</td> <td data-bbox="406 1059 730 1081">基礎工事</td> <td data-bbox="730 1059 1098 1081">☐有 ☑無</td> <td data-bbox="1098 1059 1519 1081">☐手作業 ☐手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1081 406 1104">④本体構造</td> <td data-bbox="406 1081 730 1104">本体構造の工事</td> <td data-bbox="730 1081 1098 1104">☐有 ☑無</td> <td data-bbox="1098 1081 1519 1104">☐手作業 ☐手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1104 406 1126">⑤本体付属品</td> <td data-bbox="406 1104 730 1126">本体付属品の工事</td> <td data-bbox="730 1104 1098 1126">☐有 ☑無</td> <td data-bbox="1098 1104 1519 1126">☐手作業 ☐手作業・機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td data-bbox="336 1126 406 1193">⑥その他(アスファルト取り壊し)</td> <td data-bbox="406 1126 730 1193">その他の工事</td> <td data-bbox="730 1126 1098 1193">☑有 ☐無</td> <td data-bbox="1098 1126 1519 1193">☐手作業 ☑手作業・機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table> <p>②処理について</p> <p>本工事から発生するアスファスト廃材及びコンクリート廃材は、建設リサイクル法、栃木県土木工事必携建設副産物適正処理推進要綱により、適正に処理するものとする。</p> <p>③処理条件</p> <p>アスファルト塊、コンクリート塊の建設廃棄物は、径30cm未満に小割りし、下記再生資源化施設(破砕工場)に、持込み処分するものとする。</p> <p>再生資源化施設名(コンクリート塊) : (株)鈴建工業 L=9.4km 再生資源化施設名(アスファルト・コンクリート塊) : _____ 再生資源化施設名(木材) : _____</p> <p>④請負者は分別解体等・再資源化が完了したときには、建設リサイクル法第18条に基づき、別途様式1により監督員に報告することとする。</p> <p>⑤本工事におけるカッター切断作業により発生する濁水については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)」に基づき適正に処理しなければならない。また、下記の処理施設は積算上の条件を明示するものであり、処理施設を指定するものではない。なお、舗装版切断時に発生する濁水の処理量は、設計変更の対象とする。</p> <p>積算上の処理施設 : セルクリーンセンター L=15.7km</p> <p>⑤工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>⑥その他 内容:</p> <p>○再生材の利用基準関係(再生クラッシャーラン、再生加熱アスファルト混合物)</p> <p>①請負者は、再生材の使用にあたっては、「再生材の利用基準」(県土木部制定)に準拠することとし、監督員が別途提示する再生資源化施設に、「再生材の供給確認書(様式2)」で、供給の可否を確認し、監督員に提出すること。なお、再生材が供給不能な場合は、別途協議すること。</p> <p>また、現場搬入開始時に目視による品質確認状況を写真に記録するとともに、「再生クラッシャーラン(RC材)品質確認状況報告書」を作成のうえ、速やかに監督員に提出すること。なお、報告書については、当該工事における再生クラッシャーランの搬入開始時に1枚作成し、その他供給元が変更する毎の初回搬入時に1枚作成する。</p> <p>②請負者は、再生材(再生加熱アスファルト混合物を除く)を使用する場合、3ヶ月以内の材料試験成績表を提出し承認を受けるものとする。なお、使用時期と承認時期がずれる場合は、使用3ヶ月以内の材料試験成績表を、再度提出し承認を受けること。</p> <p>③請負者は、再生材(再生加熱アスファルト混合物を除く)が500m³以上又は監督員が指示する場合、請負者の責任において試料を採取し、公的試験機関(財)栃木県建設技術センター等)での材料試験成績を提出するものとする。</p> <p>○4 建設発生土の搬出先への情報提供要領関係</p> <p>本工事から発生する建設発生土を100m³以上、当該工事現場の市町村から他の市町村へ搬出する場合には、「建設発生土の搬出先への情報提供要領」に基づき、実施するものとする。</p>	工程及び解体方法	工程	作業内容	分別解体の方法	①仮設	仮設工事	☑有 ☐無	☐手作業 ☑手作業・機械作業の併用	②土工	土工	☐有 ☑無	☐手作業 ☐手作業・機械作業の併用	③基礎	基礎工事	☐有 ☑無	☐手作業 ☐手作業・機械作業の併用	④本体構造	本体構造の工事	☐有 ☑無	☐手作業 ☐手作業・機械作業の併用	⑤本体付属品	本体付属品の工事	☐有 ☑無	☐手作業 ☐手作業・機械作業の併用	⑥その他(アスファルト取り壊し)	その他の工事	☑有 ☐無
工程及び解体方法	工程	作業内容	分別解体の方法																									
①仮設	仮設工事	☑有 ☐無	☐手作業 ☑手作業・機械作業の併用																									
②土工	土工	☐有 ☑無	☐手作業 ☐手作業・機械作業の併用																									
③基礎	基礎工事	☐有 ☑無	☐手作業 ☐手作業・機械作業の併用																									
④本体構造	本体構造の工事	☐有 ☑無	☐手作業 ☐手作業・機械作業の併用																									
⑤本体付属品	本体付属品の工事	☐有 ☑無	☐手作業 ☐手作業・機械作業の併用																									
⑥その他(アスファルト取り壊し)	その他の工事	☑有 ☐無	☐手作業 ☑手作業・機械作業の併用																									

項目	事項
建設副産物関係	<p>○ 建設発生土情報交換システム関係 本工事については、建設発生土の工事間利用を促進するため JACIC 工事データとして登録してあります。設計図書(共通仕様書 1-1-3-2)、または設計図書の変更により、工事データに変更が生じる場合は、登録内容を変更するものとする。 (原則として、搬入(不足)土量 500m³以上、搬出(発生)土量1,000m³以上の工事)</p> <p>○6 その他 内容:</p>
主任技術者	<p>● 1 主任技術者の選定 栃木県建設工事請負契約約款第11条第1項に規定する主任技術者は、原則として下記の基準の者を定め、選任通知書に合格証明書等有資格技術者であることを証するもの(写しでも可)を添付すること。</p> <p>①請負対象額7,000万円以上の工事は、次のイまたはロに掲げる者とする。 イ)建設業法(昭和24年法律第100号)による技術検定(以下「技術検定」という)のうち、検定項目を一級建設機械施工管理または一級土木施工管理とするものに合格した者、並びに建設大臣が前述の者と同等以上の能力を有するものと認定した者。 ロ)技術士法(昭和32年法律第124号)による本試験のうち、技術部門を建設部門、農業部門(選択科目を「農業土木」とするものに限る)または林業部門(選択科目を「森林土木」とするものに限る)とするものに合格した者。</p> <p>②請負対象額3,000万円以上7,000万円未満の工事は、次のイまたはロに掲げる者とする。 イ)上記イに掲げる者または技術検定のうち、検定科目を二級建設機械施工管理または二級土木施工管理とするものに合格した者。 ロ)上記ロに掲げる者。</p>
工事カルテ	<p>● 工事カルテの作成、登録 請負者は、受注時又は変更時に工事請負額が500万円以上の工事について、工事情報実績情報サービス(CORINS)に基づき「工事カルテ」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、訂正時は適宜登録期間に登録申請しなければならない。(ただし、工事請負額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注・訂正時のみ登録するものとする。)なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。 また、(財)日本建設情報総合センター発行の「工事カルテ受領書」の写しを監督員に提出しなければならない。</p>
アルカリ骨材反応抑制対策	<p>● アルカリ骨材反応抑制対策について 土木構造物に使用されるコンクリートおよびコンクリート工場製品において適用する。ただし仮設構造物のように長期の耐久性を期待しなくてもよいものは除く。また特殊な材料を用いたコンクリートや特殊な配合のコンクリートについては別途検討を行うこと。</p> <p>1. 現場における対処の方法 請負者は、土木構造物に使用するコンクリートについて、アルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの場合による対処の方法を取らなければならない。</p> <p>a. 現場でコンクリートを製造して使用する場合…現地における骨材事情、セメントの選択の余地等を考慮し、2.1～2.3のうちどの対策を用いているか決めてからコンクリートを製造する。</p> <p>b. レディーミクストコンクリートを購入して使用する場合…レディーミクストコンクリート生産者と協議して2.1～2.3のうちどの対策によるものを納入するかを決めそれを指定する。なお、2.1、2.2を優先する。</p> <p>c. コンクリート工場製品を使用する場合…プレキャスト製品を使用する場合、製造業者に2.1～2.3のうちどの対策によっているものかを報告させ適しているものを使用する。</p> <p>2. 抑制対策の実施方法</p> <p>2.1 コンクリート中のアルカリ総量の抑制 試験成績表に示されたセメントの全アルカリ量の最大値のうち直近6ヶ月の最大の値(Na₂O換算値%) / 100 × 単位セメント量(配合表に示された値kg/m³) + 0.53 × (骨材中のNaCl%) / 100 × (当該単位骨材量kg/m³) + 混和剤中のアルカリ量kg/m³が3.0kg/m³以下であることを計算で確かめるものとする。防錆剤等使用量の多い混和剤を用いる場合には、上式を用いて計算すればよい。なお、AE剤、AE減水剤等のように、使用量の少ない混和剤を用いる場合には、簡易的にセメントのアルカリ量だけを考慮し、セメントのアルカリ量 × 単位セメント量が2.5kg/m³以下であることを確かめればよいものとする。</p> <p>2.2 抑制効果のある混合セメント等の使用 高炉セメントB種(スラグ混合比40%以上)またはC種、もしくはフライアッシュセメントB種(フライアッシュ混合比15%以上)またはC種であることを試験成績表で確認する。また、混和材をポルトランドセメントに混入して対策をする場合には、試験等によって抑制効果を確認する。</p> <p>2.3 安全と認められる骨材の使用 JIS A 1145骨材のアルカリ反応性試験方法(化学法)またはJIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)」による骨材試験は、工事開始前、工事中1回/6ヶ月かつ産地がかわった場合に信頼できる試験期間^(注)で行い、試験に用いる骨材の採取には請負者が立ち会うことを原則とする。また、JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)または、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)」による骨材試験の結果を用いる場合には、試験成績表により確認するとともに、信頼できる試験期間^(注)においてJIS A 1804「コンクリート生産工程管理用試験方法—骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(迅速法)」で骨材が無害であることを確認するものとする。この場合、試験に用いる骨材の採取には請負者が立ち会うことを原則とする。なお、2次製品で既に製造されたものについては、請負者が立ち会い、製品に使用された骨材を採取し、試験を行って確認するものとする。フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ骨材等の人工骨材及び石灰石については、試験成績表による確認を行えばよい。</p> <p>(注)公的機関またはこれに準じる機関(大学、都道府県の試験機関、公益法人である民間試験機関、その他信頼に値する民間試験機関、人工骨材については製造工場の試験成績表でよい)</p> <p>3. 外部からのアルカリの影響について 2.1および2.2の対策を用いる場合には、コンクリートのアルカリ量をそれ以上に増やさないことが望ましい。そこで、下記のすべてに該当する構造物に限定して、塩害防止も兼ねて塗装等の塩分浸透を防ぐための措置を行うことが望ましい。</p> <p>1) 既に塩害による被害を受けている地域で、アルカリ骨材反応を生じるおそれのある骨材を用いる場合 2) 2.1、2.2の対策を用いたとしても、外部からのアルカリの影響を受け、被害を生じると考えられる場合 3) 橋桁等、被害を受けると重大な影響をうける場合</p>

項 目	事 項										
現場代理人の兼任について	<ul style="list-style-type: none"> ●1 現場代理人の専任を要する工事である。 ○2 現場代理人を兼任しても現場の運営、取締り等に支障がない工事である。(上三川町発注工事を1箇所まで) <ul style="list-style-type: none"> ○2.1 当初請負額3千万円未満の工事との兼任を認める ○2.2 当初請負額3千万円未満かつ工種が舗装である工事との兼任を認める ○2.3 当初請負額1千万円未満の工事との兼任を認める 										
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事現場発生品があるので、その取扱は次のとおり行うものとする。 <table border="0" style="margin-left: 40px; width: 80%;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">品 名 : ガードレール撤去廃材</td> <td style="padding-right: 20px;">数 量 : 103m</td> </tr> <tr> <td>現場内使用の有無 : 無</td> <td>搬 出 場 所 : ㈱ウスイ産業</td> </tr> <tr> <td>品 名 : 除去塗膜(ドラム缶収集)</td> <td>数 量 : 現場発生数による</td> </tr> <tr> <td>PCB含有塗膜</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現場内使用の有無 : 無</td> <td>搬 出 場 所 : 上三川町役場</td> </tr> </table> ●2 請負者は、工事の施工にあたって、次の事項を遵守するものとする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 電波法の遵守・不法無線局搭載車両の使用禁止とし、不法無線局を搭載、又は使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (2) 以上のことにつき、下請け業者、資材運搬業者等にも十分に指導すること。 ○3 内容: 	品 名 : ガードレール撤去廃材	数 量 : 103m	現場内使用の有無 : 無	搬 出 場 所 : ㈱ウスイ産業	品 名 : 除去塗膜(ドラム缶収集)	数 量 : 現場発生数による	PCB含有塗膜		現場内使用の有無 : 無	搬 出 場 所 : 上三川町役場
品 名 : ガードレール撤去廃材	数 量 : 103m										
現場内使用の有無 : 無	搬 出 場 所 : ㈱ウスイ産業										
品 名 : 除去塗膜(ドラム缶収集)	数 量 : 現場発生数による										
PCB含有塗膜											
現場内使用の有無 : 無	搬 出 場 所 : 上三川町役場										
暴力団員等による不当介入を受けた場合について	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 上三川町が発注する建設工事(以下「発注工事」という。)において、暴力団員等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。 ● 2 上記●1により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。 ● 3 発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じるなどの被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。 										

電子納品に関する特記仕様書 (●:適用する ○:適用しない)

項 目	事 項
電子納品の対象書類	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事管理情報 (XML形式) ○2 発注図 (SFC形式) ○3 特記仕様書 (PDF形式) ○4 打合簿 (PDF形式) ○5 施工管理資料 (PDF形式) ○6 施工計画書 (PDF形式) ○7 完成図 (SFC形式) ●8 工事写真 (JPEG形式) ○9 その他 () (PDF形式) ●10 対象書類以外に電子納品を行う場合は、監督員との協議により実施すること。
電子納品に関し適用する要領・基準等	<ul style="list-style-type: none"> ●1 上三川町建設工事電子納品実施要領(案)(平成21年4月) ●2 栃木県 CALS/EC 電子納品運用に関するガイドライン第11版(令和6年4月) ●3 工事完成図書の電子納品要領 (令和5年3月) 国土交通省 ●4 デジタル写真管理情報基準 (令和5年3月) 国土交通省 ○5 CAD 製図基準 (平成29年3月) 国土交通省
電子納品のフォルダ作成	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事写真のみを電子納品する場合は、フォルダの作成は必要としない。 ○2 工事写真以外の書類を電子納品する場合は、電子納品実施要領(案)に基づき全てのフォルダを作成すること。
事前協議	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事着手時には「電子納品事前協議チェックシート(土木工事)」(様式-1)により、電子納品対象書類、ファイル形式、作成ソフト等の協議を行うこと。
成果品の提出	<ul style="list-style-type: none"> ●1 成果品の提出に使用する電子媒体はCD-Rとする。 ●2 成果品は基本的には、1枚のCD-Rに格納する。 ●3 成果品は、正副各1枚ずつ計2枚を提出する。 (正副各1枚の場合のラベル表示は「正1/1」「副1/1」とする) ●4 CD-Rのラベル及びケースには、「電子納品実施要領(案)」に基づき、必要な情報を記載すること。 ●5 CD-Rのラベルは、CD-R表面へのプリンタ直接印字または油性マジック等での書込みとする。(ボールペン・鉛筆など硬質な筆記具の使用不可) ※ラベルシール等の貼付けはしないこと。(全面貼付けも不可)
インデックスプリント(簡易写真帳)の提出	<ul style="list-style-type: none"> ●1 工事写真の電子納品にあわせてインデックスプリントを作成し、検査時に提出する。インデックスプリントとはA4サイズの紙に代表写真のみを抜粋してカラー印刷したもので、縦5行・横3列の15枚ずつを原則とする。各写真の下に「工種」「写真タイトル」「撮影箇所」を3行で記入すること。(極力枚数を少なくし、簡易な製本とする。) ●2 代表写真は、工事全体の流れがわかる写真とし、「栃木県土木工事共通仕様書」の「栃木県土木工事写真管理基準(案)」における提出頻度程度(提出枚数は、電子納品した写真データの1割程度を目安)とする。
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ●1 提出する CD-R 内には閲覧ソフト(ビューソフト)を入れないこと。 ●2 疑義が生じた場合は速やかに監督員と協議し指示を受けること。